



Sustainability Report

サステナビリティレポート2024

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社

1.会社情報（Corporate Profile）

会社概要
トップメッセージ
企業理念・ビジョン・経営方針
製品紹介

2.サステナビリティ経営（Sustainability Management）

サステナビリティ重要テーマ・担当役員メッセージ
サステナビリティ推進体制・社外からの評価
ISE2024における当社のサステナブルな取り組み紹介

3.環境活動（Environmental Initiatives）

環境理念と行動指針
環境経営推進体制と環境ISO認証活動
環境経営活動状況（製品活動）
環境配慮型製品の創出
製品リサイクルへの取り組み
グリーン調達推進
環境規制・性能表示における取り組み
環境経営活動状況（事業所活動）
環境負荷低減活動（エネルギー使用量）
環境負荷低減活動（廃棄物排出量）

4.社会活動（Social Initiatives）

CSR経営基本方針
サプライチェーンCSRの推進
品質・お客様満足
人権・労働
ダイバーシティ・マネジメント
人事制度
人材育成
労働安全衛生の取り組み
社会貢献活動 地域社会とともに

5. ガバナンス（Governance）

コーポレートガバナンス体制
内部統制体制
コンプライアンス推進の取り組み
汚職と贈収賄防止のための取り組み
知的財産に関する取り組み
輸出管理の取り組み
情報セキュリティ管理・対策強化の取り組み
事業継続計画と防災対策の取り組み
コンプライアンスに関する通報窓口

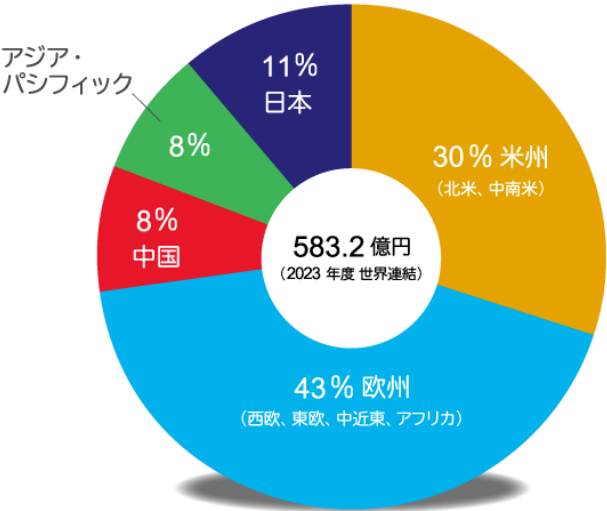
商 号	シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社 (Sharp NEC Display Solutions, Ltd.)
本 社	東京都港区三田一丁目4番28号 (三田国際ビル)
資本金	30億円 (シャープ、NEC出資)
事業内容	映像表示装置および映像表示ソリューションの開発、 製造、販売
従業員数	約750名 (世界連結)
設立日	2000年1月18日
営業開始日 (社名変更)	2020年11月1日
売上高	583.2億円 (2023年度 世界連結)
地域別売上比率	30%米州 43%欧州 8%中国 8%アジア・パシフィック 11%日本
拠 点	湘南テクニカルセンター 奈良事業所
海外販売会社	Sharp NEC Display Solutions of America, Inc. (北米) Sharp NEC Display Solutions Europe GmbH (欧州)
中国事業統括会社	Sharp NEC Display Solutions (China), Ltd. (中国)

(2024年3月31日現在)

役員一覧

代表取締役会長	河村 哲治
代表取締役社長執行役員	山本 利明
取締役 (非常勤)	徐 文中
取締役 (非常勤)	木村 健一
取締役 (非常勤)	岡本 寛文
取締役 (非常勤)	土手 信三
取締役 (非常勤)	草場 俊紀
執行役員	皆川 泰紀
執行役員	薬師寺 厚二
執行役員	福田 和哉
監査役 (非常勤)	泉 誠
監査役 (非常勤)	大山 善久
監査役 (非常勤)	吉田 健介

地域別売上比率



当社は、ディスプレイ商品を基盤とした映像ソリューション事業を展開しています。

幅広いポートフォリオの商品と使用シーンに応じた映像ソリューションをお客様にお届けし、世界120を超える国と地域で数多くのお客様から信頼と高い評価を頂いております。

当社のディスプレイ商品と映像ソリューションは、交通機関、商業施設、オフィスや教育現場、映画館という身近なシーンから、安全で快適な生活を支えるインフラを見守るセーフティ向けまで、生活のさまざまな場面で使用されています。

今後ICTの進展に伴い、暮らしやビジネスなどの電子化された情報を伝達・共有するディスプレイのニーズがますます高まります。更に、単に情報を伝達・共有するだけでなく、効果的な表示、臨場感ある映像、リアルな空間演出等、「映像ソリューション」活用機会の増加が期待できます。

当社は、2020年11月にシャープとNECの合併会社として「シャープNECディスプレイソリューションズ」に生まれ変わりました。

長年NECグループで培ってきた技術力やグローバルな販売体制に加え、シャープグループの持つアセットとシナジーを形成することで、パートナー企業やお客様とともに、豊かな映像を通じて「人・心・空間」をつなぎ、感動のある新たな日常をつくりだし、社会に貢献していきます。どうぞご期待ください。



代表取締役社長執行役員
山本 利明

企業理念

お客様に感動と満足をいただけるクオリティの高い映像ソリューションを提供します

ビジョン

私たちは豊かな映像を通じて「人・心・空間」をつなぎ

感動のある新たな日常をつくります

経営方針

- 全てのステークホルダーから信頼される会社であり続けます。
- バリューチェーンの全てにおいて、最先端の技術と最高の知識を駆使し、世界で最適のクオリティの商品・サービスをお客様に提供します。
- 新市場の創造に挑戦し、成長し続けます。
- いかなる環境においても企業責任を果たし、環境変化に適応し続けます。
- よき企業市民として、企業倫理とコンプライアンス、環境保護に取り組みます。
- 企業の成長と個人の成長を共に図る人材育成・能力開発に取り組みます。

当社は、シャープグループのBtoB映像ソリューション事業を担う一員となり、グループ一体でデジタルイメージングソリューション事業に取り組んでいます。

新たな価値と成長を創造するソリューションを実現するため、長期的な方向性や今後提供していく価値を明確にするため、ビジョンの改訂を実施しました。

私たちは、豊かな映像を通じて「人・心・空間」をつなぎ、感動のある新たな日常をつくりだし、社会に貢献していきます。

ビジョンに込めた想い

豊かな映像という言葉には
高品質な映像、
利用シーンに応じて価値を提供できるような映像、
という意味合いを込めています。

人・心・空間をつなぐという言葉には
当社製品をご利用いただく「人」が、
物理的に同じ「空間」（リアル）にいる「人」と、
また、遠隔「空間」（リモート）にいる「人」と、
「心」を通わせていただきたいという意味を込めています。

感動のある新たな日常という言葉には
「安心・共感・快適・臨場感・没入感」を提供することで、
今までと違った体験・感動を世の中に与えていく
という意味合いを込めています。

つくり出すという言葉をはりなにした理由は

「作る」無形・有形のものをつくる
「造る」大きいものをつくる
「創る」新しいものをつくるがありますが、
全ての意味合いを込めています。



ビジョン
私たちは
豊かな映像を通じて
「人・心・空間」をつなぎ
感動のある新たな日常をつくり出す

シャープNECディスプレイソリューションズは、
これまで培ってきた技術力やグローバルな販売体制をベースに、
パートナー企業やお客様とともに、豊かな映像を通じて「人・心・空間」をつなぎ、
感動のある新たな日常をつくりだし、社会に貢献していきます。



Office



Education



Signage



Entertainment

当社製品のラインアップの詳細は当社Webページ (<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/display.html>)をご覧ください。



スタンダードモデル

コンパクトさを追求しながら、画質や省エネにもしっかり配慮
接続・設置・調整、操作性に優れたモデル。



短焦点モデル

投写距離を十分とれない小さな会議室や教壇スペースでも、
大画面投写を可能にする短焦点プロジェクター。



プロフェッショナルモデル

常設・可搬両用で幅広い設置ニーズに応え、
明るい会議室や教室でも使いやすい、大空間対応多機能プロジェクター。



DLP Cinema®プロジェクター

映像の質感まで伝える表現力、プロの現場における確かな信頼性で、
さまざまなシアターに対応可能なDLP Cinema®プロジェクター。



会議・ミーティング向け／デジタルサイネージ向け パブリックディスプレイ

さまざまな業種・用途で威力を発揮し、
高い信頼性と耐久性を誇る大画面ディスプレイ。



LEDマルチスクリーン

明るい環境下でも色鮮やかで視認性が高く、
継ぎ目のないシームレスな大画面マルチスクリーンを構成する
屋内用／屋外用フルカラーLEDディスプレイ。



ITディスプレイ

先進のエコロジーと使いやすさを両立。
利用シーンと用途に合わせ、充実のラインアップ。



ビジネスPCセクション

NECのビジネスPCセクションメニューで選択可能な
液晶ディスプレイを豊富にご用意いたしました。



特殊用途向け（15型）

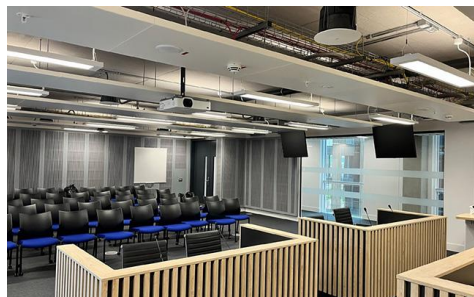
セキュリティ、工作機器監視表示機、産業機器監視表示機、情報端末、
会計端末、金融端末など、さまざまなニーズに応える産業用ディスプレイ。

教育現場

映像機器を標準化、部屋のパラメータや教育要件に応じて、パブリックディスプレイ、LEDマルチスクリーン、プロジェクターなどを配置することで、ICTを活用したインタラクティブな学習環境の構築に貢献しています。

クライアント：大学

インストール年：2022年



公共機関

空港などの公共機関においては、複数のディスプレイに異なる情報を表示するシステムや、設置場所や時間に応じて表示内容を自動で切替えるなど、スムーズな情報提供を実現しています。

クライアント：空港

インストール年：2023年



オフィス

LEDマルチスクリーンの大画面で高精細な映像により、遠隔会議シーンにおいてもリアルなプレゼンテーションと没入型のコラボレーション体験が生まれ、生産性向上に貢献しています。

クライアント：企業

インストール年：2023年



シアター・ホール

レーザープロジェクター32台とビデオマッピング技術を駆使した270度の没入型体験で臨場感ある映像を生み出します。デジタルアートとステージパフォーマンスが融合した感動的なショーをお届けしています。

クライアント：シアター

インストール年：2023年



Sustainability
Management



シャープNECディスプレイソリューションズが提供する製品やソリューションは、社会インフラやビジネス、教育、エンターテインメントなど、豊かな映像を必要とする幅広いシーンでご利用頂いています。当社は製品の開発、製造、販売を通じて社会と共に発展すると共に、「良き企業市民」として、事業活動を通じて人権の尊重・労働環境の整備、安全衛生の推進、環境保全、公正取引の実践・倫理感の醸成、健全な調達活動等の社会課題に継続的に取り組んでいくことが不可欠であると考えています。

多岐にわたる社会課題をサステナブルな経営で解決していくため、当社は以下のマテリアリティ（重要課題）を特定し、取組みを進めています。

「豊かな映像を通じた社会貢献」



「環境配慮型製品の創出」



「産業廃棄物のリサイクル促進」



サステナビリティ推進担当役員メッセージ

私たちは、社会価値創造型企業として、長年にわたり事業を継続しています。世界120を超える国と地域に私たちのお客様がいらっしゃることから、これまでも、地域ごとに異なる課題の解決に積極的に取り組んでまいりました。一方、昨今はグローバル共通の課題として、社会課題の解決が取り上げられるようになってきました。

そこで私たちは、特にサステナビリティに対し先進的に取り組んでいる欧州をはじめとする世界の販売拠点と一体となって、23年度からサステナビリティ・ワーキンググループを発足し、シャープグループ長期環境ビジョン「SHARP Eco Vision 2050」に同期させながら、グループ全体での取組みを加速させています。

製品活動においては、活動項目をプロモーション、品質、商品企画に細分化し、マテリアリティ（重要課題）を技術ロードマップに落とし込むことで、取り組むべき項目を特定し、様々な施策に取り組んでいます。

また、社会の中で事業活動を行っている私たちは、社会の本質的な課題を理解し、多様な人々が活躍できる社会の実現を目指した取組みを進めると共に、地域社会価値の向上にも継続的に取り組んでいます。

私たちはこれからも社会課題の解決に取り組み、豊かな映像を通じて「人・心・空間」をつなぎ、感動のある新たな日常をつくりだし、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。



執行役員
皆川 泰紀

サステナビリティ推進体制

持続可能な社会の実現に向けた取組みを加速するため、23年度よりサステナビリティ・ワーキンググループを発足し、世界の販売拠点と一体となった取組みを進めています。



社外からの評価

Invidis Green Signage Award 受賞

環境に配慮した事業展開は、海外でも評価されています。環境への負荷を最小限に抑えた製品・使用済み製品の回収・再資源化サービスは、サステナビリティに貢献するとして2022年度、ミュンヘンで開催されたデジタルサイネージサミットでGreen Signage賞を受賞しました。詳細は当社Webページをご覧ください。

(<https://www.sharpnecdisplays.eu/p/eeme/en/news/details/rp/2022/specialtopics/invidisgreensignageaward.xhtml>)



おいまちSDGsパートナーに認定

神奈川県 大井町にある製品開発拠点、湘南テクニカルセンターにおいて、当社のサステナビリティ活動を評価いただき、町と共に取り組む「おいまちSDGsパートナー」に認定されました。詳細は大井町ホームページをご覧ください。

(<https://www.town.oi.kanagawa.jp/uploaded/attachment/9230.pdf>)



Ecovadis

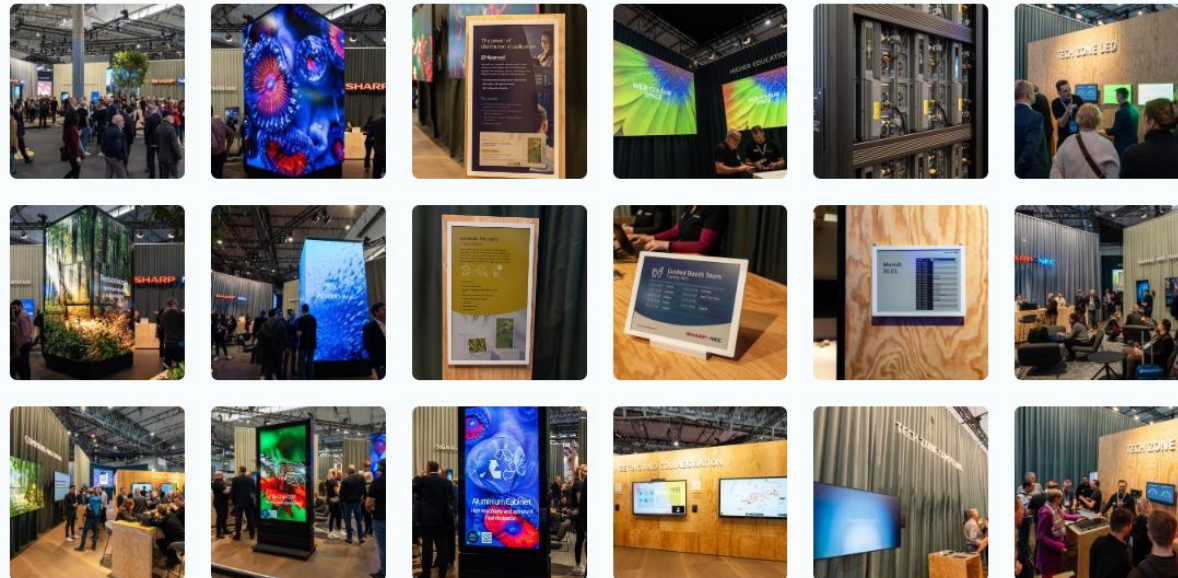
当社は毎年、国際的なサステナビリティ評価機関であるフランスのエコバディス社による評価を受けています。

ISE2024における当社のサステナブルな取り組み紹介

2024年1月30日から2月2日にかけてバルセロナで行われたヨーロッパを中心とした世界最先端技術の展示会 ISE2024 (Integrated Systems Europe)に、欧州販売拠点である Sharp NEC Display Solutions Europe GmbH が出展し、‘Towards Tomorrow’をキャッチコピーに、当社の品質、サービス、サステナビリティに関する取り組みを紹介しました。

会場はグリーンを基調とした空間デザインにより当社の環境への取り組みを表現し、使用シーンに対応したシャープ・NEC両ブランドの幅広い製品の展示を行いました。

専門家によるガイド付きブースツアーでは、主要な製品とソリューションに焦点を当てながら価値提案を行うことで、当社の映像技術を体感いただくと共に、サステナブルな取り組みについて理解を深めていただきました。



Environmental Initiatives



シャープNECディスプレイソリューションズは、環境に関する大きな責任を率先して引き受け、持続可能な社会の実現に貢献するために様々な取り組みを行っています。

環境理念と具体的な6つの行動指針に基づいて、環境配慮型製品・サービスの創出を目指す「製品活動」、環境に配慮した最適な事業所の運営を目指す「事業所活動」、そして地域社会の一員として「地域融和」を軸に活動を推進します。



環境理念

当社は、環境問題を経営の重点課題として位置づけ、環境配慮型の製品やソリューションの提供を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善により、環境への負荷を低減する事業活動を目指します。
2. 製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷の低減に努め、環境に配慮した製品やソリューションの提供を行います。
3. 汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び適応、生物多様性及び生態系の保護に取り組みます。
4. 環境に関する情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。
5. 環境法規制の順守はもとより、環境に関する要求や要請にも積極的に取り組みます。
6. 環境意識を高揚する啓発や教育を行い、持続可能な社会に貢献する人材を育成します。

シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「環境」について以下の通り行動基準を定めています。

環境

■ 製品に含有する化学物質の管理

すべての製品に対して、法令等で指定された化学物質を管理する

■ 製造工程で用いる化学物質の管理

製造工程において、所在国の法令等で指定された化学物質を管理する

■ 環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステムを構築し、また運用する

■ 環境への影響の最小化（廃水・汚泥・排気など）

排水・汚泥・排気などに関する所在国の法令等を遵守し、また必要に応じて自主規準をもって更なる改善をする

■ 環境許可証／行政認可

所在国の法令等に従い、必要とされる場合は行政からの許認可を受け、また必ず要求された管理報告を行政に提出する

■ 資源・エネルギーの有効活用(3R)

省資源・省エネルギーを実行するための自主目標を設定し、また継続的な資源・エネルギーの有効活用を図る

■ 温室効果ガスの排出量削減

温室効果ガスの排出量削減を実行するための自主目標を設定し、また継続的削減を図る

■ 廃棄物削減

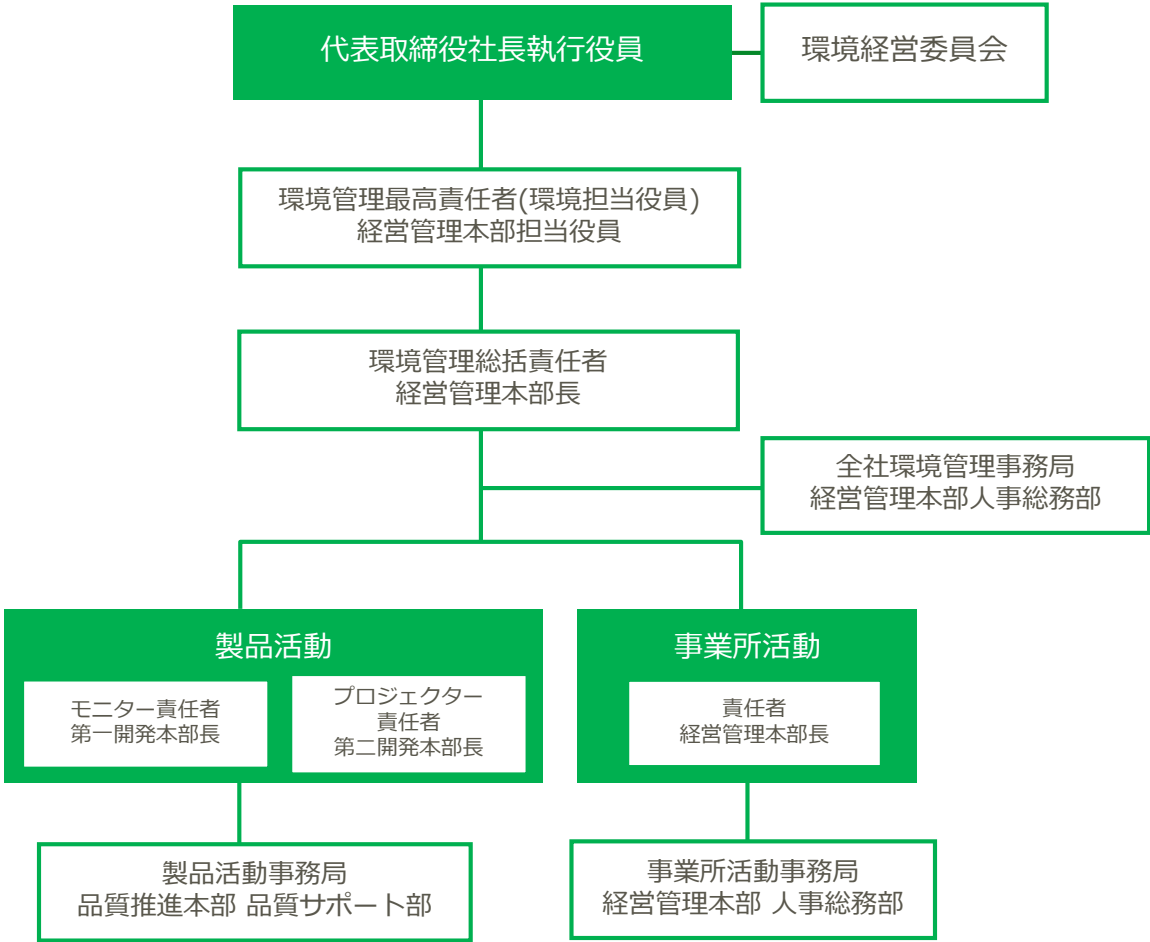
最終廃棄物の削減を実行するための自主目標を設定し、また継続的削減を図る

■ 環境保全への取組み状況の開示

環境活動の成果について、必要に応じ開示する

環境経営推進体制

環境方針（環境理念・行動指針）を実践する体制として、社長をトップとした推進体制を整えています。



環境ISO認証活動

当社は、環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001を取得しています。2020年度にNECグループから離脱後、外部認証機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査基準に基づく登録分割審査を受審し、当社単独で認証を取得致しました。今後も同機関の定期監査を毎年受審し、環境マネジメントシステムの前進に取り組みます。



当社の環境ISOの変遷

- 1997年 NEC湘南テクニカルセンターとしてISO14001認証取得
- 2007年 NECディスプレイソリューションズとしてISO14001認証更新
- 2017年 改正版ISOへの準拠
- 2020年 シャープNECディスプレイソリューションズとしてISO14001認証取得
- 2023年 同認証の更新

当社の製品活動において、主力商品であるモニター／プロジェクターの環境管理目標年度計画を立て、実績管理をしています。

2023年度はグリーンプロダクト（GP）ガイドラインに基づいた環境配慮型設計を目標として取り組み、より高い目標値60pt以上を達成する実績を上げることが出来ました。

2024年度は、高水準の目標値を維持しつつ、高い製品環境性能を全ての製品で実現する事を推進していきます。

指標	活動項目	2023年度 目標と実績	2024年度 目標															
製品における 環境負荷の 低減	環境配慮型設計を 推進	GPガイドラインに基づくGPポイント※：60pt以上 ⇒実績：○ 全ての対象製品(全4機種)で、60pt以上を達成 ME432：67.7pt ME502：71.8pt ME552：67.0pt ME652：68.1pt	GPガイドラインに基づくGPポイント※：60pt以上 ※GPガイドラインに定める7つの評価項目の達成度 1.省エネ/創エネ 2.省資源化 3.リサイクル性 4.安全に使用・処理 5.グリーンマテリアル/デバイスを使用 6.電池・包装・取説等の環境配慮性 7.環境配慮性性能/情報が見える化															
	著しい環境 側面への対応	製品開発における以下の取り組み：2項目以上達成 ①製品使用時の省電力化 ②小型化・軽量化（大型製品の重量等の最適化） ③バージンプラスチック使用量削減 ⇒実績：○ 全ての対象製品(全7機種)で、2項目以上を達成 <table><tr><td>モデル</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr><tr><td>CR3200WL</td><td>達成</td><td>達成</td><td>-</td></tr><tr><td>E988/M981/ME552</td><td>達成</td><td>達成</td><td>-</td></tr><tr><td>L222F/L242F</td><td>達成</td><td>達成</td><td>達成</td></tr></table>	モデル	①	②	③	CR3200WL	達成	達成	-	E988/M981/ME552	達成	達成	-	L222F/L242F	達成	達成	達成
モデル	①	②	③															
CR3200WL	達成	達成	-															
E988/M981/ME552	達成	達成	-															
L222F/L242F	達成	達成	達成															

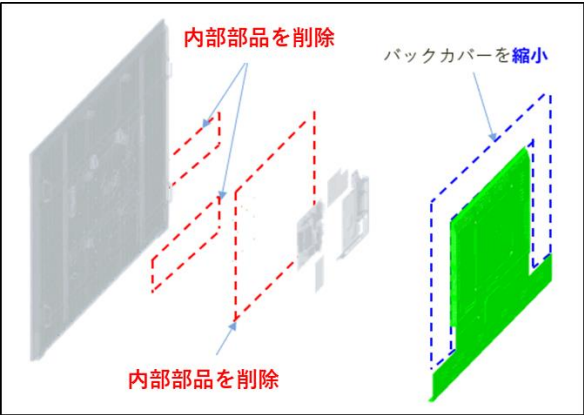
注）○：達成度100%以上、△：達成度80%以上、×：達成度80%未満（ISO14001における不適合：目標達成率80%未満（評価：×））

環境負荷の低減を追求し、商品開発・部材調達から生産設備・生産手法、更にリサイクル・廃棄まで、製品のライフサイクル全体を考慮した環境配慮型製品やソリューションを提供します。

シャープブランド製品においては、シャープグループ環境基準に基づく製品設計を推進するとともに、NECブランド製品においては、NECの製品アセスメント基準を満たす製品設計を継続しております。

ディスプレイ軽量化

大画面液晶ディスプレイを従来のモデルから軽量化したことで設置の負荷が軽減され、さまざまな映像体験を実現するとともに、輸送時の環境負荷軽減（CO₂削減）に貢献します。



代表的な製品		重量	CO2削減率
従来	C751Q	52.6 kg	31%
後継	E758	36.3 kg	
従来	C861Q	57.8 kg	20%
後継	E868	46.0 kg	
従来	C981Q	90.0 kg	27%
後継	E988	65.4 kg	

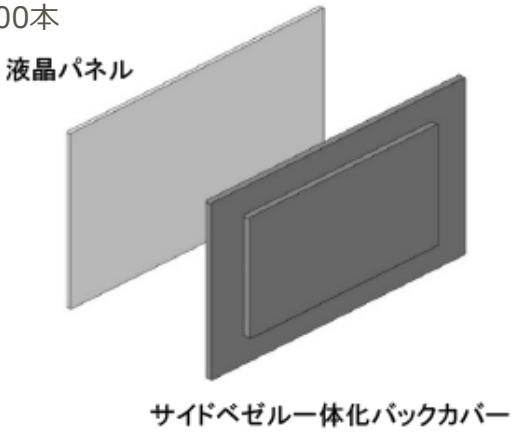


組立・分解・解体に配慮した構造

大画面液晶ディスプレイの構造を見直し、サイドベゼルとバックカバーを一体化したことにより、従来のモデルからねじの本数を大幅に削減しました。バックカバーを開けるまでに取り外すねじの本数も削減され、回収性に配慮した組立・分解・解体のしやすさを実現、また廃棄物削減に貢献します。

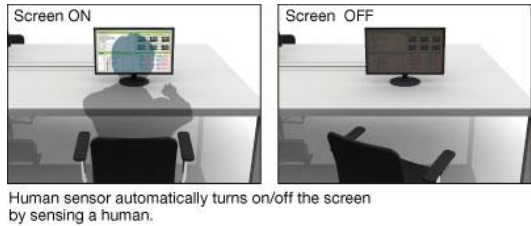
※従来→後継モデルねじ本数比較

LCD-V654Q:181本 → LCD-M651:100本



ディスプレイ製品の環境配慮設計

- 人感センサ
人の動きを感知して、画面や音声を自動的にON/OFFします。表示コンテンツの切り替えや画面の輝度、音量の調節等の細かい設定も可能です。
- 外光センサ
内蔵センサが周囲の明るさを検知して、自動的に画面の輝度を調整します。
- パワーマネジメント機能
パソコンの入力信号がないときは、自動的に休止状態に入り、省エネに貢献します。
- CO₂削減量表示
輝度設定を下げることで削減された消費電力をCO₂排出量(kg)に換算して積算表示します。
- グリーン購入法の対象
消費電力・動作再開機能・特定化学物質等の基準値を満たしている一部の製品が対象です。



ディスプレイ消費電力の削減効果

2023年モデルの屋内用LEDマルチスクリーン「FEシリーズ」は、省電力設計により高輝度表示を維持しながら低消費電力での運用が可能となりました。

高効率LED部品およびLED駆動ICの効率化により従来機種に比べ消費電力を約70%削減し、年間のCO₂排出量削減に大きく貢献します。

消費電力 削減効果	従来モデル LED-FE012i2-110	省電力モデル LED-FE012i3-110
	2000W（最大）	610W（最大）



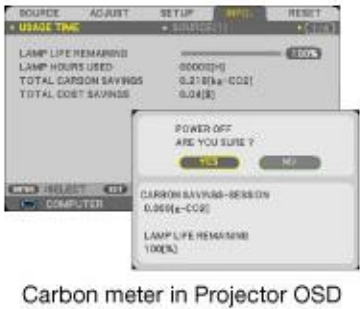
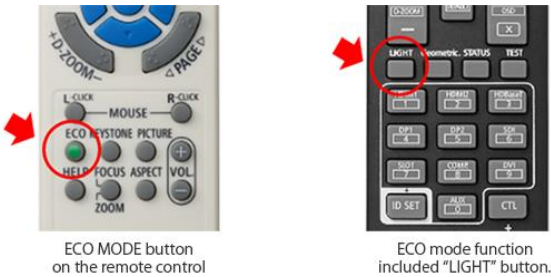
従来モデル
LED-FE012i2-110



省電力モデル
LED-FE012i3-110

プロジェクター製品の環境配慮設計

- **エコモード**
明るさを若干抑えることで、ランプの交換時間の延長／消費電力の低下し、環境負荷低減に貢献します。
- **CO₂削減量表示**
エコモード設定で削減された消費電力をCO₂排出量(kg)に換算して積算表示します。
- **スタンバイモード「省電力設定」**
スタンバイ時の消費電力を削減できます。天吊り設置等、主電源をオフにできない場合に役立ちます。
- **エコマーク認定**
財団法人 日本環境協会から認定される基準に適合。環境負荷が少なく、環境保全に寄与すると認められています。
- **グリーン購入法の対象**
重量・消費電力・光源・保守部品等の供給期間・特定化学物質等の基準値を満たしている一部の製品が対象です。



プロジェクター消費電力の削減効果

従来のランプ式に比べて長寿命なレーザー光源を採用、消費電力を低減し、CO₂削減に貢献します。さらにスタンバイ時、使用目的などに合わせてライトモードを選択、ライト調整をすることで、消費電力を抑えることができます。

消費電力削減効果	従来PAシリーズ	後継PAシリーズ
	739W (8000lm時)	513W (8000lm時)



従来PAシリーズ



後継PAシリーズ

消費電力削減効果	NC1700L	NC1503L
	3,807W	1,837W



NC1700L (本体) 17CU01 (冷却装置)

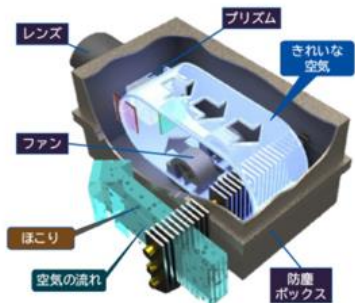


NC1503L

フィルターレスプロジェクター

フィルターレス液晶レーザー光源プロジェクターにより、ランプの交換や調整にかかる労力やメンテナンスコストを軽減、さらに樹脂廃棄物の削減に貢献します。また、密閉化された光学ユニット内に冷却ファンが内蔵されるため、ファンノイズが低減され、より快適にご使用いただけます。

メンテナンスコスト・廃棄物を削減



フィルターレスで防塵性能に優れた設計

メンテナンス軽減

コスト負担削減

廃棄物削減

ノイズ低減

使用済み製品リサイクル推進

2001年4月1日から「資源の有効な利用の促進に関する法律（改正リサイクル法）」の施行に伴い、事業系使用済みのパソコン用ディスプレイの回収・再資源化システムを構築しリサイクルを推進しています。また「資源有効利用促進法」にもとづき、家庭系使用済みパソコン用ディスプレイの回収・再資源化システムも合わせて構築し、リサイクルを推進しています。

当社の大型液晶ディスプレイは97%以上リサイクル可能です。不用品として回収された製品は、素材ごとに分解・リサイクルを行い、資源の有効利用を行っています。

端材プラスチックの有効活用

製品成型時に発生するプラスチック片「端材プラスチック」を廃棄する代わりに、製品の原材料として再利用しています。製品のモデルにより差はありますが、製品の原材料のうちおよそ10パーセントをこの再利用した端材プラスチックで補っています。

梱包緩衝材の改善

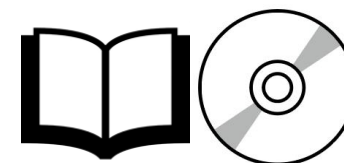
梱包緩衝材は環境に配慮した「100%リサイクル可能な材料」を採用、軽量化を進めることで「廃棄物削減」に貢献します。また圧縮可能な材料を採用することで「回収性の改善」を実現します。



取扱説明書の改善

取扱説明書のペーパーレス化、プラスチックレス化を推進し、WEB展開を進めています。液晶ディスプレイの2023年度9月時のWEB対応率は100%となります。

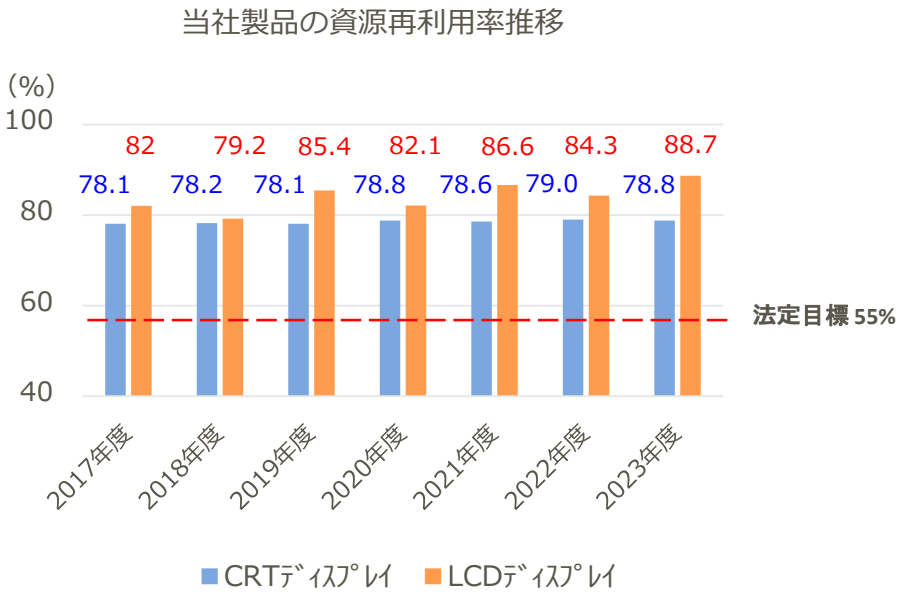
ペーパー・CD-ROM



WEB展開



地球環境保全と資源の有効活用のため、事業系（法人ユーザー様）の使用済みディスプレイおよびプロジェクターの回収・再資源化を行っています。
「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で使用済みになったディスプレイの回収・再資源化を行っています。



CRT、LCDディスプレイは、資源再利用率として
法定目標(55%以上)が定められております。

グリーン調達の推進

持続可能な社会を目指し、環境に配慮した製品を提供していくため、環境負荷の少ない材料・部品・製品等を優先的に調達・購入する「グリーン調達」に取り組んでいます。「グリーン調達」推進のために、シャープグループとNECグループの両基準に準拠しています。当社ホームページにグリーン調達ガイドラインを掲載しております。

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/supply/guideline.html>

環境管理に関する宣言書

新規サプライヤ（海外取引先含む）との取引契約の際には、当社のグリーン調達方針について徹底を依頼し、環境に関する宣言書を各サプライヤに宣言していただいております。

To: _____

Declaration of Environmental Management

I, on behalf of the company below, hereby declare the following three clauses and agree on Sharp NEC Display Solutions Ltd. Green Procurement Guideline.

1. We understand the importance of environmental management, so that we establish the environmental management system and promote environmental activities.
(Optional)
If your company is certified ISO14001, please fill in the following boxes.

Standard	Certification Agent	Certification Number
ISO14001		

2. We observe the domestic laws and regulations regarding to the environment, the occupational health and safety, and the hazardous chemicals.

3. In the case that Sharp NEC Display Solutions Ltd. provides the product specification which banned chemical substances are specified in documents, we will take appropriate control so as to observe the specification, and guarantee not to contain such banned substances in the product.
(This clause is only applicable for tangible products.)
(Appropriate Controls)

- In procurement process, we notify such banned substances to suppliers.
- In production process, we verify the process not to contain such banned substances.
- If we find the product contains such banned substances, we promptly notify it to Sharp NEC Display Solutions Ltd.

(Date)

(Company Name)

(Responsible Person and Signature)

御中

環境と安全衛生管理に関する宣言書

弊社は、シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社(以下SND S)に対して、物品やソフトウェアならびにサービス等を販売・提供するにあたり、SND Sが取引先宛に展開する「グリーン調達ガイドライン」、および「製品含有化学物質の調達制限に関する基準」、「CSR調達ガイドライン」を理解し、下記の通り宣言いたします。

1. 弊社は、環境管理体制を整備し、環境保全ならびに地球温暖化防止に努めます。
(任意記入欄)
ISO14001 認証(あるいは環境マネジメントシステムに関して ISO14001 に準ずる第三者認証)を受けている場合、下記に記入ください。(認証規格・認証機関・認証番号を記入)

認証規格名	認証機関	認証番号

2. 弊社は、環境および化学物質に関する法規制を順守します。また、工事や生産活動において、労働者の健康および安全衛生を適切に確保することの重要性を認識しており、安全衛生管理体制を整備し、関連する法規制を順守するとともに、安全を最優先し事故が生じないよう徹底します。
(任意記入欄)
OHSAS18001 認証(あるいは安全衛生マネジメントシステムに関して OHSAS18001 に準ずる第三者認証)を受けている場合、下記に記入ください。(認証規格・認証機関・認証番号を記入)

認証規格名	認証機関	認証番号

3. 弊社は、廃棄物の処理において、対象となる法規制を順守し、環境汚染や有害性を考慮して、適切な処理を行います。

4. 弊社は、SND Sから購入品目面・購入仕様書等で含有してはならない化学物質が指定されている場合には、当該製品に含まれる化学物質を適切に管理するとともに、SND Sへ供給する製品や包装材にはSND Sが指定する「含有禁止物質」ならびに「条件付き含有禁止物質」が含有しないことを適切な管理のもとに順守します。また、SND Sから製品含有化学物質情報の提出を求められた場合には、指定された手段で提出します。

【適切な管理】
・最新版の「グリーン調達ガイドライン」、および「製品含有化学物質の調達制限に関する基準」をサプライヤチェーンで既ガイドライン」を順守します。
・資材調達では、当該含有禁止物質を調達先に周知徹底します。
・生産工程では、製品中に当該含有禁止物質が含有しないように確認します。
・製品中に、当該含有禁止物質が含まれていると判明した場合は、すみやかに連絡します。

(目付)

(社名)

(役職)

(宣言者の署名)

(署名は捺印でも可)

Copyright All rights reserved, SHARP NEC DISPLAY SOLUTIONS, LTD.

22

各国環境規制/省エネ規制の対応

グローバルに事業を展開する当社は、環境に関する要求や要請にも積極的に取り組むことを環境行動指針に掲げ、環境法規制の順守を事業展開の重要事項とみなし、製品の開発にあたり全製品において世界の環境規制・指令に迅速に対応しています。

■ 各国の主な環境規制/環境規格

環境・省エネルギー			
EU	USA	China	Japan
EU ErP指令 TCO	ENERGY STAR	中国環境ラベル 中国エコラベル 中国省エネ認証	国際エネルギー グリーン購入法 エコマーク PCグリーンラベル
含有化学物質規制			
EU	USA	China	Japan
POPs条約 REACH規制 RoHS指令 電池規制 包装廃棄物指令	TSCA Green Chemistry法 PFAS規制 有機ハロゲン難燃剤規制	新汚染物質管理行動計画 (中国版POPs) 中国RoHS	化審法 J-Mossグリーンマーク
リサイクル			
EU	USA	China	Japan
EU WEEE Der Grüne Punkt Triman Decree	Green Dot	国家勸奨標準 (GB/T18455-2022)	PCRリサイクル法 容器包装リサイクル法 段ボールリサイクル協議会

製品への表示対応

各国環境規制/省エネ規制に基づき、基準を満たす製品について表示ラベリングを実施、環境情報・環境配慮性能が見える化することで、お客様に安心して弊社製品をお使い頂けるよう配慮しています。

■ 各国の主な環境表示/ラベル

液晶ディスプレイ			
TCO		Energy Star	
			
液晶ディスプレイ・プロジェクター・LEDマルチスクリーン			
日本容器梱包 リサイクル法	段ボールリサイクル	EU WEEE	Der Grüne Punkt
			
EAEU 容器包装 リサイクル法	Triman Decree *1	中国省エネ認証 *2	国家勸奨標準
			

*1 LEDマルチスクリーン 規格対象外
*2 LEDマルチスクリーン 非対応

当社の事業所活動においては、環境負荷に与える影響が高いと評価される項目に目標を定め、取り組みを行っています。

2023年度の実績は、CO₂排出量及び産業廃棄物の削減目標を大幅達成し、環境負荷低減に寄与しました。環境月間等の意識啓発により環境経営の基盤の更なる強化を図りました。

2024年度の目標は、環境負荷低減の継続を目指し、各種施策の実施による環境経営基盤の強化を推進することと致しました。

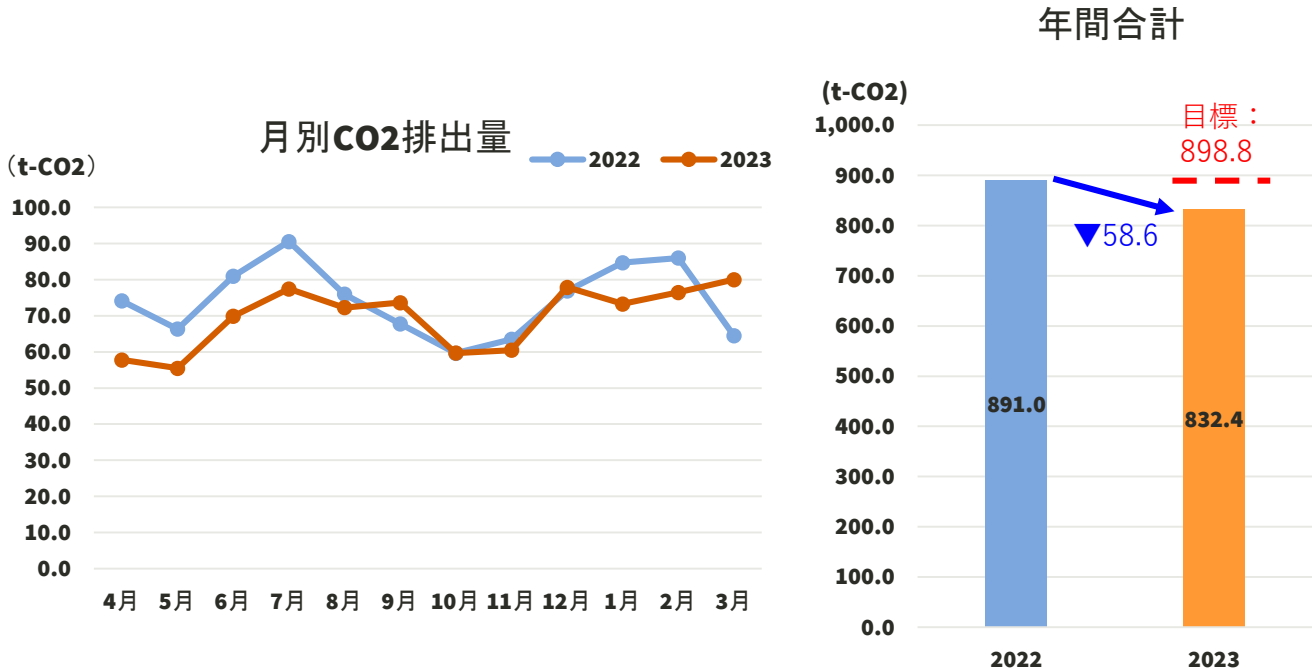
指標	活動項目	2023年度 目標と実績	2024年度 目標
気候変動 対策の推進	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量を2021年度実績より4.2%削減する ⇒ 目標： 898.8t-CO ₂ ⇒ 実績：○ 832.4t-CO ₂	CO ₂ 排出量を直近3年間の実績平均から4.2%削減 ⇒ 目標： 847.3t-CO ₂
資源循環、 省資源の推進	廃棄物排出量の削減	年間24.2%以上の産業廃棄物の有価率を達成する ※2026年度の有価率30%達成に向け、 年度毎に段階的に有価率を向上させる ⇒ 実績：○ 38.8%	直近 5 年間の平均有価率30.0%の達成 ※2020年度～2023年度の平均有価率： 31.9%
	PCB廃棄物の処分	高濃度PCB廃棄物の適正処理・旧保管庫の清掃による 環境汚染および健康被害の防止	なし（2023年度にて、全PCB廃棄物の処理完了）
環境経営前進 への取り組み	経営トップがリードする 環境経営の実践	・ 経営トップメッセージの発信 ・ マネジメントレビューの実施とレビュー結果の発信 ・ 環境意識向上のための環境月間等の実施 （トピックス発信・イベント） ・ 環境教育の計画的な実施 ・ 環境標準類の更新/見直しの適宜実施 ⇒ 実績：△ 全ての活動実施 （環境教育の受講率は100%到達ならず）	・ 経営トップメッセージの発信 ・ マネジメントレビューの実施とレビュー結果の発信 ・ 環境意識向上のための環境月間等の実施 （トピックス発信・イベント） ・ 環境標準類の継続的な更新/見直し ・ 環境教育の計画的な実施 ・ 環境啓発ショートコンテンツの発信

※○：達成度100%以上、△：達成度80%以上、×：達成度80%未満（ISO14001における不適合：目標達成率80%未満（評価：×））

エネルギー使用量削減活動

2023年度のCO₂排出量は、832.4t-CO₂でした。前年度比 約-6.6%です。

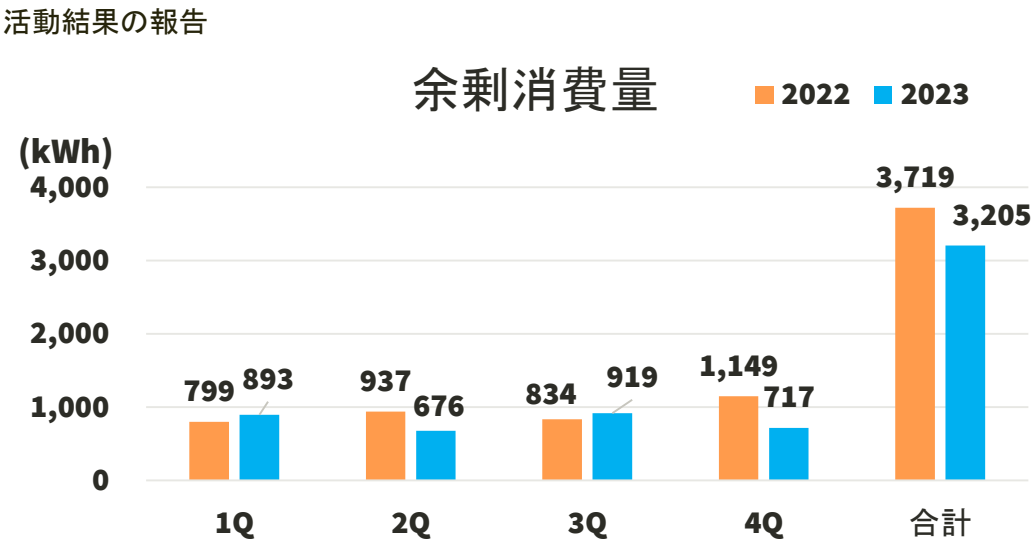
まず、前年度に比べ、全ての用途において電力使用量が削減しています。夏季の屋内ブラインドの全閉による空調効率改善、そのほか製品開発進捗の年次変化により、電力使用量は約9.5%減となりました。また、冬季の空調の主な使用エネルギーとなるガスにおいては、約13.3%減となっています。



～活動例～
天井灯の一斉消灯活動

天井灯の一斉消灯活動とは、毎月定例の曜日に、通路を除く事務所フロアをすべて消灯するという活動です。これにより、消し忘れ削減と消灯意識の浸透を図っています。

2023年度は活動の頻度を増やし、毎週水・金曜日と毎月の給与支給日に設定。また、月初に前月の消灯忘れがあったフロアを可視化した社内マップを事業所全体に周知し、活動の改善を図りました。



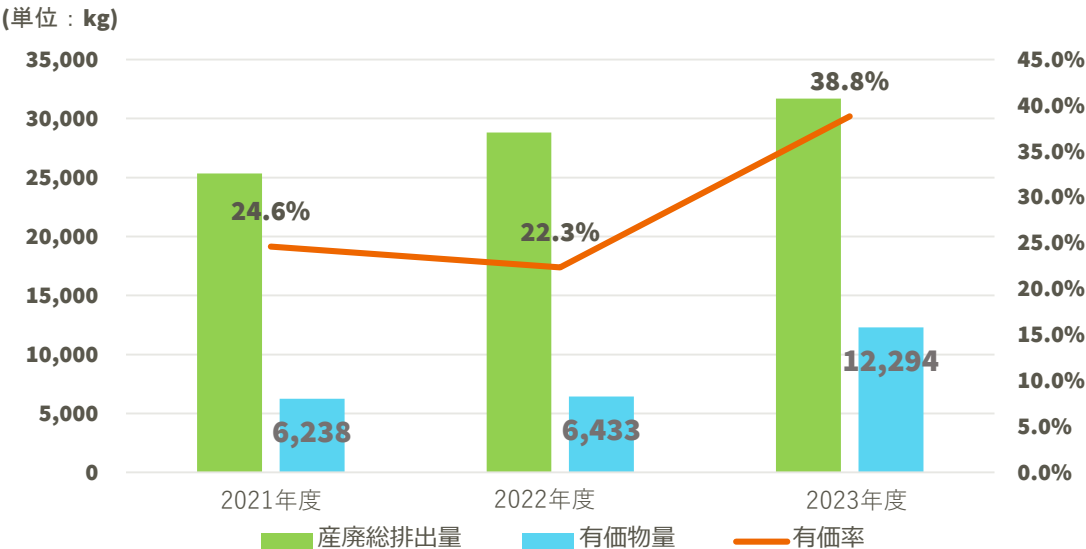
※余剰消費量・・・従業員が不在のエリアで照明が消灯されなかったことによる無駄になってしまった電力使用量の事。

廃棄物排出量削減活動

2023年度の産業廃棄物総排出量に対する有価率は、目標を大幅に上回り38.8%を達成することが出来ました。

有価率は、廃棄物を分解・解体することで向上します。廃棄業者との月1回以上の情報交換により、分解・解体作業の効率改善のためには作業スペースの更なる確保という課題が明確になったため、一時的な廃棄物の仮置き場を設置しました。また、各部門からの廃棄時期を調整することにより、廃棄業者による分別・解体の時間を確保しました。

産廃・有価物排出量と有価率の推移



※組織改正等の特殊要因による廃棄物・有価物は除外して算出しています。
 ※産業廃棄物総排出量は前年度に比べ約1.1倍ですが、有価物量は2倍以上になっています。

～活動例～有価率の向上

当社は、湘南テクニカルセンターの事業所内に廃棄物の分解専用エリアを設けています。各職場で発生した廃棄物をここに持ち込み、常駐の廃棄業者に分解・分別してもらうことで、有価物を取り出し、廃棄物削減につなげています。

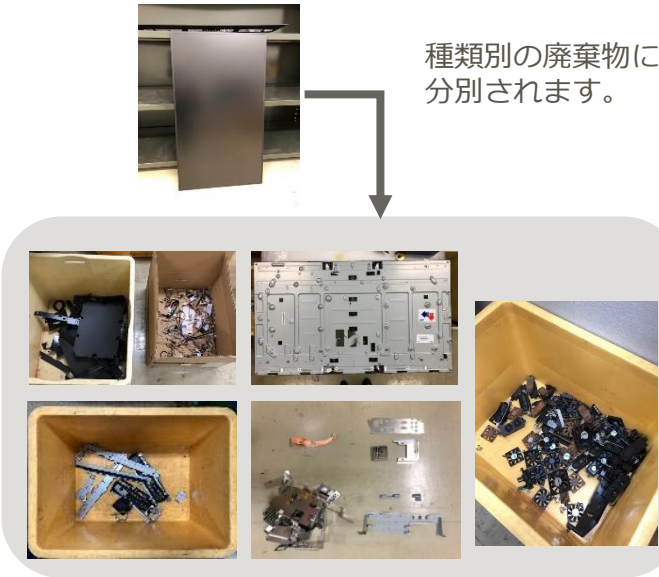
このエリアに持ち込まれる廃棄物は、主に評価・実験が完了し不要となった開発品です。開発品は分解された後、廃棄物の種類ごとに分けられます。このうち、貴金属類が含まれる基板や金属部品、銅線類等有価物として業者に引き取られます。

＜分解専用エリア＞



このエリアで、開発品を分解・分別しています。

＜開発品分別の一例＞



Social
Initiatives



シャープNECディスプレイソリューションズは、お客さまや社会に信頼される存在でありたいという思いで、コンプライアンスを徹底するだけでなく、持続可能な社会実現をめざし、環境(Environment) 社会(Social) ガバナンス(Governance)というESGの観点での取り組みを行っています。また、その成果と課題を積極的にステークホルダーのみなさまに開示し、みなさまとのコミュニケーションをとって自らの企業活動の改善をはかっています。

加えて、そのコミュニケーションから、お客さまや社会の課題解決のためのヒントを得て、新規事業の立上げや既存事業の進化などのイノベーションの創造につなげることもサステナブルな経営のあるべき姿と考え、次の基本方針でCSR(Corporate Social Responsibility)経営を推進しています。

CSR経営基本方針

- リスク管理・コンプライアンスの徹底
- 事業活動をととした社会課題解決への貢献
- ステークホルダー・コミュニケーションの推進

リスク管理・コンプライアンスの徹底

企業が社会に存在し、ステークホルダーの期待や要請に応えるために欠かせないものとして、グループ会社およびお取引先を含め、リスク管理とコンプライアンスを徹底します。そのために、人権侵害や環境破壊など、ステークホルダー、社会や環境に対する負の影響（リスク）の低減や回避をはかります。また、常に「コンプライアンスを最優先とする」意識を持ち、これを実践します。

事業活動をととした社会課題解決への貢献

社会価値創造型企業として、事業推進にあたっては、取り組むべき社会課題の確認と、提供する製品・サービスが社会に与えるインパクトを考える文化を醸成しています。また、この社会課題やインパクトを考える際にSDGsを活用しています。これらを推進することで、社会の本質的な課題を追求し、さまざまなステークホルダーと新たな価値を共創しながら、豊かで明るい社会と未来の実現に貢献します。また、地域社会のみなさまやNPO、NGOと連携した、社会貢献活動をととした社会課題の解決にも取り組みます。

ステークホルダー・コミュニケーションの推進

さまざまなステークホルダーとの対話・協働をととして、お客さまや社会の本質的な課題やお客さまから求められている期待を知り、信頼関係を築いていきます。また、課題に対する取り組みの成果や新たな課題を、CSRレポートなどをととして積極的に開示します。さらに、社会の声を起点として、取り組みを改善するPDCAサイクルを継続的に回すことにより、ステークホルダーのみなさまとの信頼関係を構築し、企業価値の向上に努めます。

サプライチェーン全体でのCSR推進

お取引様とともに持続可能な成長を実現していくために、部品・材料の品質・価格・納期に関する取組みはもとより、サプライチェーン全体で「公正取引・倫理」「環境」「人権・労働」「安全衛生」などのさまざまな分野にわたる企業の社会的責任を果たすことが求められています。

そのため、調達における社会的責任を着実に推進するため、お取引先様向けに当社のCSR調達方針を伝達し、各サプライヤがそれを正しく履行しているかを確認しています。当社の調達における各種ガイドライン詳細は当社Webページ (https://www.sharp-nec-displays.com/jp/csr/for_supplier.html)をご覧ください。

シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「サプライヤ管理」について以下の通り行動基準を定めております。

サプライヤ管理

当社のCSR調達方針を主要サプライヤに伝達し、各サプライヤがそれを正しく履行しているかを確認する。

新規サプライヤ（海外取引先含む）との取引契約の際には、当社の「グリーン調達ガイドライン」および「製品含有化学物質の調達制限に関する基準」、「CSR調達ガイドライン」について徹底を依頼し、環境と安全管理に関する宣言書を各サプライヤに宣言していただいております。

「下請法」遵守を徹底するための監査と教育

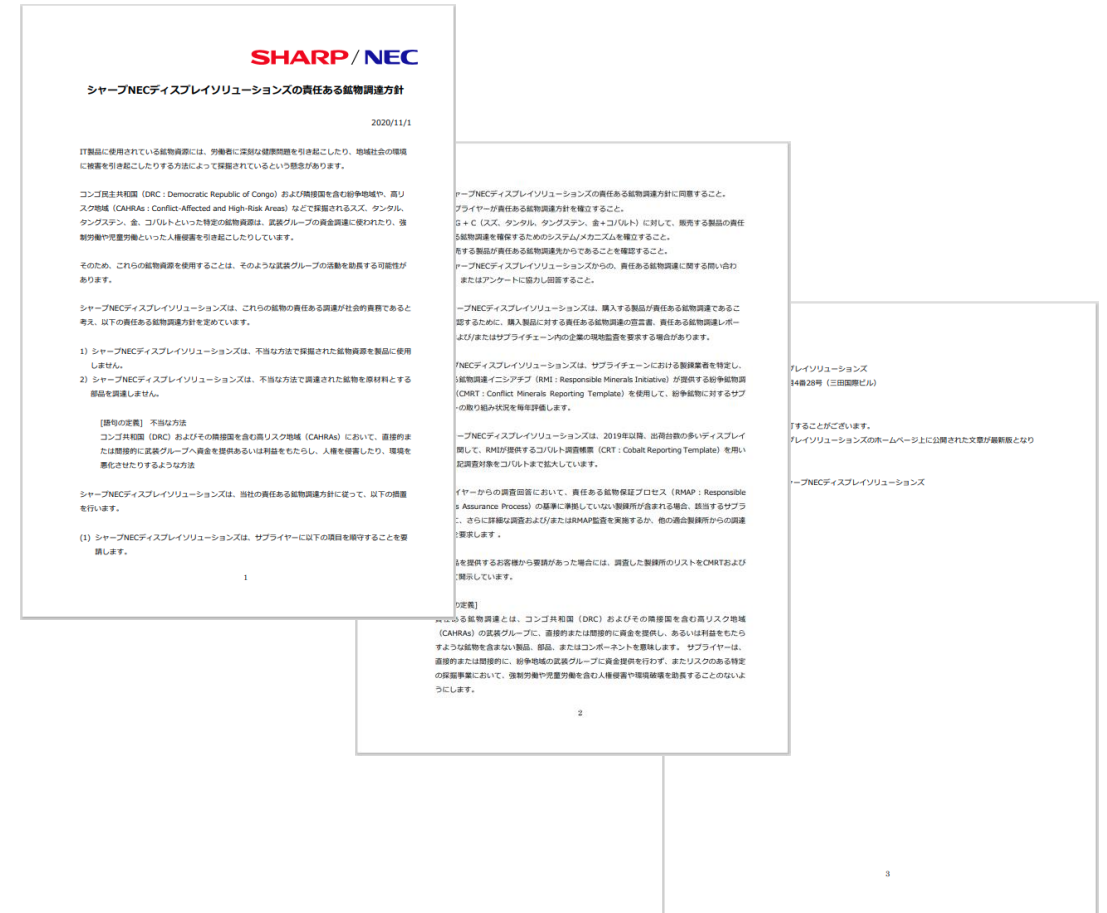
「下請法（下請代金支払遅延等防止法）」の遵守を徹底するため、コンプライアンスチェックおよび社内教育を継続的に実施しています。コンプライアンスチェックについては、社内ガイドラインを策定し、ガイドラインに沿った適正な下請取引を行うよう徹底するとともに、継続的に社内教育を実施し、下請法遵守に対する意識付けを徹底しています。

本年度は2024年2月～3月にかけて、シャープグループ全体で下請法についてeラーニングを実施しました。教育による知識向上と合わせて、長期休暇に入る前には「内示行為禁止の徹底」についての全社通知を発行するなど、継続的に注意喚起も実施しています。

IT製品に使用されている鉱物資源には、労働者に深刻な健康問題を引き起こしたり地域社会の環境に被害を引き起こしたりする方法によって採掘されているという懸念があることから、これらの鉱物の責任ある調達が社会的責務であると考え、CSR行動規範のなかで「責任ある鉱物調達」について以下の通り行動基準を定めております。

紛争地域において不当な方法で採掘された鉱物を製品に使用せず、また紛争地域において不当な方法で採掘された鉱物を原材料とする商品を調達しない方針であり、サプライヤに対しこの方針に同意し適切に管理することを要求する。

鉱物紛争対応ガイドライン



品質・安全性の確保

シャープNECディスプレイソリューションズでは製品の品質と安全性が最も重要な経営テーマおよび社会的責任のひとつであると考え、「品質方針」に沿って、安全性・品質・信頼性に配慮したより良い製品・サービスの提供に向けて取り組んでいます。

ハイクオリティな映像と安心をお届けするため、当社の映像機器は、企画・設計の段階から出荷時まで、各種の品質テストを繰り返し実施しています。また、導入後もさまざまなサポートやフィードバック体制を築くことで、世界レベルの製品提供を実現しています。

品質方針

品質と安全性を第一とし、映像ソリューションの提供を通し、お客様に満足と感動を！

取組み戦略

1. 品質と安全性を最優先した顧客満足第一の映像ソリューションを創造
2. ベタープロダクツ、ベターサービスの提供
3. 新技術開発・新領域の創出
4. 収益と企業価値の最大化を図り社会に貢献
5. 品質および安全性に関連する法令および規制等の順守
6. 付加価値映像ソリューションで世界シェアNo.1を目指す



品質ISO認証活動

当社は、従来から製品の品質・安全性の向上に取り組んでおり、1997年より品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001の認証を取得しています。外部認証機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査基準に基づく審査を受審し、当社単独で認証を取得しております。

ISO9001の認証取得により、本規格に基づいた品質保証体制を構築し、運用することで、お客様により一層満足いただける製品の品質、サービスの提供に努めてまいります。

ISO9001 マネジメントシステム登録証



QMSにおけるキーププロセス

商品企画プロセス

マーケティング、商品企画、商品受注、各種契約に関するプロセス

世界レベルの製品を提供するために、通常の品質マネジメントを行う品質保証部とは別に、設計・評価に特化した部門として品質革新部を設置しています。商品企画の段階から品質管理に取り組み、機能・性能などのチェック、信頼性評価などを行っています。

開発・設計プロセス

商品の使用策定から量産開始までのプロセス

企画・設計段階から部材の評価基準や試験方法をつねに検討。長期信頼性に影響する部品は厳しい規定を設け、徹底したレビューを繰り返し行った上で、基準に達するまで何度でも改善・検査を行います。

製造・出荷

海外での生産においては海外の品質拠点から、継続的に品質改善活動を支援。問題解決活動を標準化することで品質管理の仕組みを充実させ、問題の再発防止、予防に努めています。さらに、サプライヤーと品質情報を共有化し部材の改善に取り組む他、出荷前にシステム試験を行うことや、デジタルシネマ機については一台一台画像調整をするなど、製品の高品質化を実現しています。

アフターサービスサポートプロセス

アフターサービス及びそれを支援し管理するプロセス

出荷を開始した製品は量産開始後もライフテストを継続するとともに、市場での品質状態をチェック。万一不具合が発見された場合は、迅速に問題を特定し対策・改善を図ります。また、サポートパックなど安心してお使いいただける体制を用意しています。

部材受け入れ

製品をより長期間、安定して使用するためには、構成するパーツ一つひとつが高品質である必要があります。そのため、基準をクリアした信頼できるサプライヤーの部材だけを採用。小さな部材にまでこだわりを持って選定しています。

高品質の電解コンデンサを採用

電源回路などの信頼性を確保するために、通常の民生用よりも約20℃高い耐温度基準を設定。基準に合格した電解コンデンサを使用することで、高温環境下でも安定した映像再現を実現します。



開発拠点に修理センターを設置

製品の研究開発を行っている湘南テクニカルセンター内に、修理センターを設置しています。持ち込まれた情報はすぐに開発部門や品質管理部門に展開し、高品質な製品づくりに役立てています。



お客様のニーズと要望に応えるため、運用・導入のご支援から、保守、修理、リサイクル回収まで、幅広いサポート・サービスを提供しています。

運用・導入支援サービス

お客様のニーズに応じたさまざまなご要望に幅広く応えるサービスをご用意しています。

カスタマイズ サービス	配送時組立 サービス	カラーキャリブレーション サービス	医用ディスプレイ ネットワーク品質管理
▶ ディスプレイ ▶ プロジェクター	▶ ディスプレイ	▶ ディスプレイ	▶ ディスプレイ

保守サービス

ご導入後の機器を良好な状態でお使いいただくための無償／有償保守サービスをご用意しています。パブリックディスプレイは無償で出張引取修理のサービスを行っています。

ダウンロードサービス

当社Webページより最新のソフトウェアや取扱説明書、カタログなどがダウンロードできます。

修理サービス

当社Webページに修理に関するお問い合わせ窓口をご用意しています。

製品リサイクル回収サービス

地球環境保全と資源の有効活用のため、事業系（法人ユーザー様）の使用済みディスプレイおよびプロジェクターの回収・再資源化を行っています。また、「資源有効利用促進法」にもとづき、ご家庭で使用済みになったディスプレイの回収・再資源化を行っています。

体感・提案・感動型ショールーム

プロジェクターとディスプレイの幅広いラインアップと、デジタルサイネージをはじめとした数々の映像ソリューションをご体感いただけるショールームをご準備しています。最新モデルの検証、動作確認から、具体的な使い方・活用提案を通して、お客様のイメージを具現化し、新たな映像ソリューションをご体感いただきながら導入のご支援をします。また、ショールームへのご来館が難しいお客様向けに、オンラインによるLIVEデモもご準備しています。



シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「人権・労働」について以下の通り行動基準を定めております。本行動規範に基づき、サプライチェーンを含めたあらゆる事業活動の場において、基本的人権を尊重した行動を実践しています。

人権・労働

■強制的な労働の禁止

すべての従業員をその自由意思において雇用し、また従業員に強制的な労働を行わせない

■非人道的な扱いの禁止

従業員の人権を尊重し、虐待や各種ハラスメント（嫌がらせ）をはじめとする過酷で非人道的な扱いを禁止する

■児童労働の禁止

最低就業年齢に満たない児童対象者を雇用せず、また児童の発達を損なうような就労をさせない

■差別の禁止

求人・雇用における差別をなくし、機会均等と処遇における公平の実現に努める

■適切な賃金

従業員に少なくとも法定最低賃金を支払い、また不当な賃金減額を行わない

■労働時間

法定限度を超えないよう、従業員の労働時間・休日・休暇を適切に管理する

■従業員の団結権

労働環境や賃金水準等の労使間協議を実現する手段としての従業員の団結権を尊重する

■少数者への配慮

少数者への差別禁止だけでなく、その権利の保全にむけた配慮を推進する

■外国人従業員への配慮

特別な人事管理・就業管理を要する外国人従業員ならびに外国人実習生の人権を損ねることがないように配慮する

児童労働・差別の禁止

採用段階において、最低就業年齢に満たない児童対象者を雇用しないために、採用候補者の年齢確認を行っています。また、採用情報を一般に公開し、採用過程の透明性を確保することで、差別のない雇用機会の均等を実現しています。

採用面接にあたっては、本人に責任のない事項を把握する質問や、本来自由であるべき事項を把握する質問はしないこと等の面接官向けの面接指導を実施しています。

適切な賃金

男女の賃金の差異を公開することで、未是正のジェンダー間の賃金格差の課題を理解し、男女共同参画を進めることにより、改善に向けて取り組んでいます。賃金体系において、性別属性その他による格差はありません。

労働時間

コアタイムのないフレックス制度、時間単位で利用可能な休暇制度を導入しています。2023年度の一月当たりの社員（組合員）の平均残業時間は8時間6分でした。

お取引先に対する人権の尊重

社会的責任を着実に推進するため、自社に限らずお取引先様向けに当社のCSR調達方針を伝達し、サプライチェーン全体でCSRへ取り組むことを推進しています。

また、社外ステークホルダーに対しての意見収集の場として、webサイト上にお取引先様向け相談窓口を設置しています。

社員の権利の尊重と対話を重視した労使関係

法令に基づき、社員の団結権と団体交渉権を尊重しながら労使の信頼関係の強化を図っています。当社では、労働組合が労働三権（団結権、団体交渉権、団体行動権）を保有することを認めています。

労使幹部が対話する労使協議の場を定期的に設定するとともに、労使が経営状況や職場環境についての課題の意見・情報交換を定期的に行っています。また、組合員の労働条件に影響を及ぼす事項については、事前に協議することとしています。

人権に関する教育の実施

意識啓発のために、全社員を対象にESGに関する学習の中で「人権」に関する教育を実施、基本的人権の尊重についての意識向上を図りました。

2023年度	
受講期間	2023年8月～9月
対象者	社員（派遣社員、産休・育休・その他長欠者は除く）
テーマ	第1章 ESGとは 第2章 環境取り組み 第3章 ビジネスと人権 第4章 社会貢献活動

ハラスメントの未然防止

職場におけるハラスメントの未然防止のため、全社員を対象とした、多様性の理解促進やハラスメントの問題に関する研修を実施しています。本年度は「ハラスメントの防止に向けて」シャープグループeラーニング研修を2023年12月に実施、各種ハラスメントの禁止について浸透を図りました。また、社内ポータルサイトにハラスメント防止に向けた啓発コンテンツを掲載しました。



ハラスメント防止に向けた理解促進資料の公開

グローバルにビジネスを展開する当社では、基本的人権を尊重し、性別や国籍の違い、多様な価値観を受け入れ、一人ひとりが互いの個性を尊重し合うことで新しい価値を生み出し、社会に貢献できるような環境づくりを推進しています。

ダイバーシティ・マネジメントは「多様な人材を活かす戦略」であり「経営戦略」そのものと捉えています。人材採用から人材活用まで、様々な角度から活気あふれる企業風土を醸成しています。

人材採用・人材活用

事業拡大を担う人材の確保と、活気あふれる企業風土の醸成を図るため、新卒採用とともに、キャリア採用の強化に取り組んでいます。2023年度の中途採用比率は27%、採用した社員に占める女性社員の割合は47%となります。

グローバルに事業を展開する当社では、現場ニーズに即したグローバル人材の活用に取り組んでおり、国内における留学生、外国人の採用拡大を推進しています。

グローバル人材の活躍

世界120を超える国と地域にお客様がいる私たちは、海外販売拠点・販売代理店との信頼関係維持・発展が不可欠です。グローバル人材が、国境を越えた海外のビジネスパートナーとの円滑なビジネスコミュニケーションを通じて、現地への情報シェア、現地販売促進活動のサポート支援に貢献しています。

女性活躍推進への取り組み

2016年4月に施行された「女性活躍推進法」に基づく行動計画に沿って、当社は2027年3月末までの目標を定め、男女共同参画を進め、女性社員のさらなる活躍推進に積極的に取り組んでいます。

性別属性にとらわれず活躍を公正に評価するなかで、係長級にある者に占める女性社員の割合は、2022年度10.1%から、2023年度12.8%へ増加しました。また、女性の採用比率30%以上をかがげ、女性の採用を積極的に進めることで、次世代で活躍する女性社員を確保しています。

詳しくは女性の活躍推進企業データベースよりご確認ください。
(<https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/detail?id=3949>)

2023年度 女性活躍推進法に基づく情報公表	
組織全体の女性社員の割合	18%
男女の平均継続勤務年数の差異	男性：24.4年 女性：20.2年
係長級にある者に占める女性社員の割合	12.8%
男女の賃金の差異 ※基本給のみ（家族手当・時間外手当等含まず）	全社員：74.1% 社員：74.1% パート：0%（対象者無し）

当社では、各種人事制度の整備を進めることで、多様な人材がやりがいを持ち、より活躍できる職場環境づくりに取り組んでいます。

雇用延長制度

「長年培ったスキルやノウハウを社会に還元する」との観点より、定年退職を迎えた社員が引き続き活躍するための「雇用延長制度」を設けています。

職種転換制度

1人ひとりが描くキャリアプラン・ライフプランに合わせた働き方ができるように、職種転換制度を設けるとともに、異動の流動性を確保し、希望する職種や勤務地で活躍できるよう、社内公募による配置転換制度を導入しています。
2023年度、一般職から総合職へ雇用形態を転換した人数は男性0名、女性5名でした。

セカンドキャリア支援制度

セカンドキャリアの開発を自ら計画・実施する社員に対して、会社として各人の人生設計への主体的取り組みを支援する制度を設けています。

障がい者の職場環境の整備

障がいを持ったメンバーが個々のスキルを活かして活躍できる職場づくり、安全な職場環境づくりに務めています。

福利厚生

各種福利厚生制度を導入し、社員が安心して働ける環境を整えています。

財産形成	財産形成貯蓄制度、確定拠出年金
社宅制度	新入社員用借上社宅制度、転勤者用社宅制度、厚生用家賃補助制度
厚生施設	食堂、健康管理センター、グラウンド、テニスコート（事業所により異なる）
その他	企業年金基金、退職金制度、慶弔見舞金制度、グループ保険、人間ドック等 健診費用補助、多目的休暇、リフレッシュ休暇など

ワークライフマネジメントの推進

当社はさまざまなライフイベントに対応しながら仕事と家庭生活の両方を充実させることができるよう、働きやすい職場環境を整えています。
2023年度の育児休業取得率は0%となります。出産した女性社員は0名、配偶者が出産した男性社員は1名でした。

育児関係	育児休業制度、育児短時間勤務制度、配偶者出産休暇、子の看護休暇 産後パパ育休（出生時育児休業）、多目的休暇制度、在宅勤務制度、フレックス制度
介護関係	介護休業制度、介護短時間勤務制度、介護休暇、多目的休暇制度、在宅勤務制度、フレックス制度

当社は社員一人ひとりが会社にとってなくてはならない「人財」と捉え、人財を育てその能力を最大限に活かし、会社とともに成長できる環境を整備しています。

人材育成

新入社員向けに「ビジネスマナー研修」社内業務理解を深めるための「新入社員研修」を実施しています。

階層別研修では、それぞれの節目で必要な知識やスキル、マインドを身につけるため「中堅社員研修」「管理職研修」を実施し、計画的にマネジメント力の強化を図っています。そのほか、グループ全体でシャープの経営理念、経営信条および行動規範に基づき各種教育を定期的に実施し、社員が遵守すべき事項の周知、知識向上を図っています。

自己啓発支援

シャープグループ自己研鑽施策として、各種通信教育、オンライン語学研修など、誰でも気軽に学べる機会を提供しています。そのほか、事業所内TOEIC受検補助、公的資格取得補助などを取り入れております。

能力開発研修の実施

仕事で必要としている専門的知識やスキルを高めるため、能力開発研修を実施しています。品質推進本部では、ISO9001についての研修を実施しました。また知的財産部では『他社との共創における知財留意点』をテーマとした研修を開催しました。

評価制度と処遇

会社業績と個人評価に連動した賞与・昇給制度により、成果を上げた社員に報いる仕組みとしています。半期ごとに目標設定面談を実施し、目標の進捗や貢献度・成果について共有します。自己評価記入後は評価面談を実施、評価結果は本人へフィードバックすることで、次の成長につなげています。

若年者に対する就業体験機会の提供

若年者に対するインターンシップ等の職業体験機会の提供に取り組んでいます。業界・企業説明会や、仕事を進めるうえでの課題発見や解決策提案といった職業体験を通じて、学生のキャリア形成支援に貢献します。

2023年度は主に技術職志望の学生を受け入れ、ソフトウェア設計開発等の職業体験インターンシップを実施しました。

オピニオンサーベイ（社員意識調査）

会社に対する共感度合を可視化する意識調査としてオピニオンサーベイ（社員意識調査）を実施しました。社員からの回答をもとに、分析、職場環境の改善に役立てております。なお、社員意識調査実施にあたっては、匿名性を守り、人事評価には一切関連性はないことをお伝えしております。

シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「安全衛生」について以下の通り行動基準を定めております。

安全衛生

- 機械装置の安全対策
自社で使用する機械装置類に適切な安全対策を講じる
- 職場の安全
職場の安全に対するリスクを評価し、また適切な設計や技術・管理手段をもって安全を確保する
- 職場の衛生
職場において人体に有害な生物や化学物質および騒音や悪臭などに接する状況を把握し、また適切な対策を講じる
- 労働災害・労働疾病
労働災害および労働疾病の状況を把握し、また適切な対策を講じる
- 緊急時の対応
生命・身体の安全を守るため、発生しうる災害・事故などを想定のうえ、緊急時の対応策を準備し、また職場内に周知徹底する
- 身体的負荷のかかる作業への配慮
身体的に負荷のかかる作業を特定のうえ災害・疾病に繋がらぬよう適切に管理する
- 施設の安全衛生
従業員の生活のために提供される施設（寮・食堂・トイレなど）の安全衛生を適切に確保する
- 従業員の健康管理
全ての従業員に対し、適切な健康管理を行う

安全衛生推進体制

会社の事業場で働く全ての社員の安全確保と健康の保持増進を図るとともに、快適な作業環境の形成を促進することを目的として、事業場の労働災害の防止および安全衛生水準向上のための管理責任体制を明確化しています。

湘南テクニカルセンター地区における安全衛生管理体制の一層の徹底と維持向上活動の推進を図るため、労働安全衛生法に基づき、会社選出委員、組合選出委員、産業医とともに「安全衛生委員会」を毎月開催しています。また、職場内の快適で安全な環境を維持するため、業務の効率化と品質向上を図るため、安全衛生パトロールを半年毎に開催しております。

実験室の管理においては、クリーンアップに関するガイドラインを定め、社員全員が同一意志と認識のもと、効率的な職場環境づくりと災害のない安全で快適な職場環境の維持に努めています。

2023年度安全衛生目標と実績

2023年度 安全衛生目標		目標	実績
事故・災害防止	業務上災害ゼロ	0件／年間	0件
	休業災害ゼロ	0件／年間	0件
	通勤途上災害ゼロ	0件／年間	2件／年間
快適な職場づくり	安全衛生パトロール実施と改善	上・下／各1回	6月・12月
こころと体の健康づくり	健康診断・特殊健康診断の実施	100%受診	100%
	ストレスチェックの実施	90%以上受検	87.4%
	長時間労働者対応	計画的実施	順次実施中

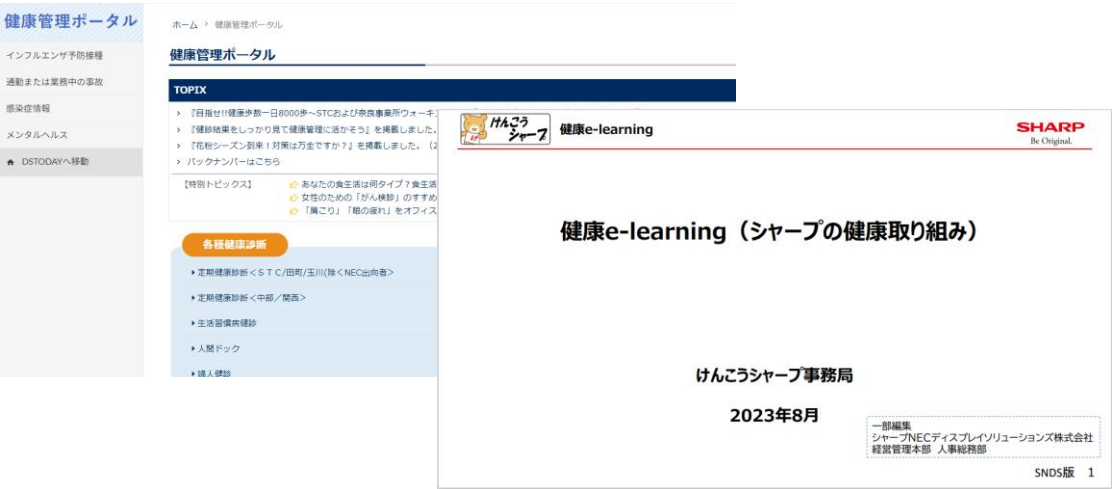
社員の健康増進の取り組み

全ての社員に対し適切な健康管理を行うことを定め、社員の健康増進に取り組んでいます。

具体的には、定期健康診断結果に基づく産業医の面談や保健指導による生活習慣病改善・減量指導の強化、禁煙サポート活動などを推進しています。そのほか、健康意識向上を目的とした、健康e-learningの実施、ポータルサイトによる情報発信、全社チームウォーキングイベントの開催など、さまざまな健康づくり施策を推進しています。

職場内には健康管理室を設置し、常駐看護師による健康相談をいつでも実施できる体制を整えています。

健康管理ポータルの公開



健康e-learning資料

メンタルヘルスキアの強化

法定ストレスチェック制度を積極的に活用し、自身のストレス状況の気付きによるメンタルヘルス不調の未然防止、早期発見・早期ケアの取り組みを行っています。ストレスチェック結果は、集団ごとに集計・分析され、必要に応じて職場環境の改善に活かしています。

そのほか、面接カウンセリング、メンタル支援プログラム、職場復帰支援プログラムの体制を整備し、メンタルヘルスキアの強化に努めています。

メンタルヘルスキア強化の取り組み

一次予防	二次予防	三次予防
発症予防・健康増進	早期発見・早期治療	職場復帰・再発防止
定期健康診断 法定ストレスチェック メンタルヘルス情報提供 感染症情報提供 健康相談	二次健診フォロー 特定保健指導 メンタル支援プログラム 健康相談	メンタル支援プログラム 職場復帰支援プログラム 健康相談

おおいまちSDGsパートナー活動

当社は、開発拠点である湘南テクニカルセンターにおけるサステナビリティ活動を評価いただき、町とともに取り組む「おおいまちSDGsパートナー」に認定されました。

2023年11月に第12回大井町環境展が開催された際には、大井町の環境展に伴う、町内のゴミ拾いウォーキング「大井町クリーンキャンペーン2023」に参加しました。

環境展会場では環境に関する取り組みの展示、環境に関する体験教室などが行われ、参加者は楽しくSDGsについて学んでいました。

当社は地域社会とともに、サステナビリティ活動に取り組んで参ります。



被災地義援金活動

2024年1月に発生した令和6年能登半島地震は、地震による家屋倒壊や火災、津波等により甚大な被害をもたらしました。当社およびシャープNECディスプレイソリューションズ労働組合は労使共同で、被災された方々への支援のため、義援金活動を実施しました。

そのほか、大井町社会福祉協議会協力のもと、社内にて北陸地方物産展を開催、売上金は全額被災地へ寄付しました。



献血活動

開発拠点である湘南テクニカルセンター内において、1994年から30年以上に渡って献血活動に取り組んでいます。2023年度は6月と12月に総勢38名にご参加いただき、献血活動を実施しました。この度、当社の永年に渡る赤十字事業への貢献に対し、日本赤十字社より「銀色有功章」を受章いたしました。

献血とは健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。今後も定期的な献血活動を通じ、社会に貢献して参ります。



エコキャップ運動

大井町社会福祉協議会とパートナーシップのもと、2017年よりペットボトルキャップ回収運動に取り組んでおります。集めたペットボトルキャップは、回収業者に買い取られて、その買取金額の一部が寄付になります。買い取られたペットボトルキャップは、プラスチックのリサイクル資源として生まれ変わります。

これまで、当社単体で累計で77万2千個のペットボトルキャップを回収し、約900人の子どもたちにワクチンを贈ることができました。



クリーンキャンペーン

地域貢献・社員の環境意識向上を目的とし、地域主催の美化キャンペーンへの参加、近隣高等学校と共同によるクリーンキャンペーン等を毎年、定期的に行っています。

2023年10月には、近隣高等学校と同日にクリーンキャンペーンを開催し、事業所周辺の通勤、通学路の清掃活動を実施、空き缶、ペットボトル、紙ごみ、ビニール・プラスチック、電池、たばこの吸い殻などのゴミを回収しました。

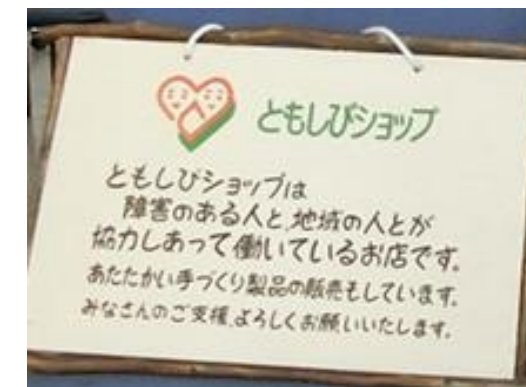
当社は地域社会の一員として地域の自然を守るため、これからも清掃活動に継続的に取り組んで参ります。



ともしびショップゆう社内販売会

神奈川県社会福祉協議会「ともに生きる福祉社会づくり」の活動に賛同し、「ともしび運動」から生まれたふれあいカフェ「ともしびショップゆう」の手作り製品・社内販売会を定期的に行っています。のどかな田園風景が広がる大井町保健福祉センターにあるふれあいカフェ「ともしびショップゆう」は、障がいのある人の社会参加の場として生まれたお店です。

湘南テクニカルセンター内における社内販売会を通じて、地域社会との交流の場が生まれ、誰もが平等に働く社会に貢献しています。



緑の維持

シャープNECディスプレイソリューションズでは、おおいまちSDGsパートナー企業として地域の自然と生態系を守るため、敷地内に湿生植物「ミゾコウジュ」「ホソイ」の保護等を目的とした湿生植物保護エリア（サントクチュアリ）を設けています。「ミゾコウジュ」は地方の貴重種、「ホソイ」は神奈川県のご貴重種として選定された植物で、共に当事業場建設前の計画地に生息していたものをサントクチュアリに移設保護しました。サントクチュアリは水辺性の鳥類「サギ」や「セキレイ」などの食餌・休息地でもあります。



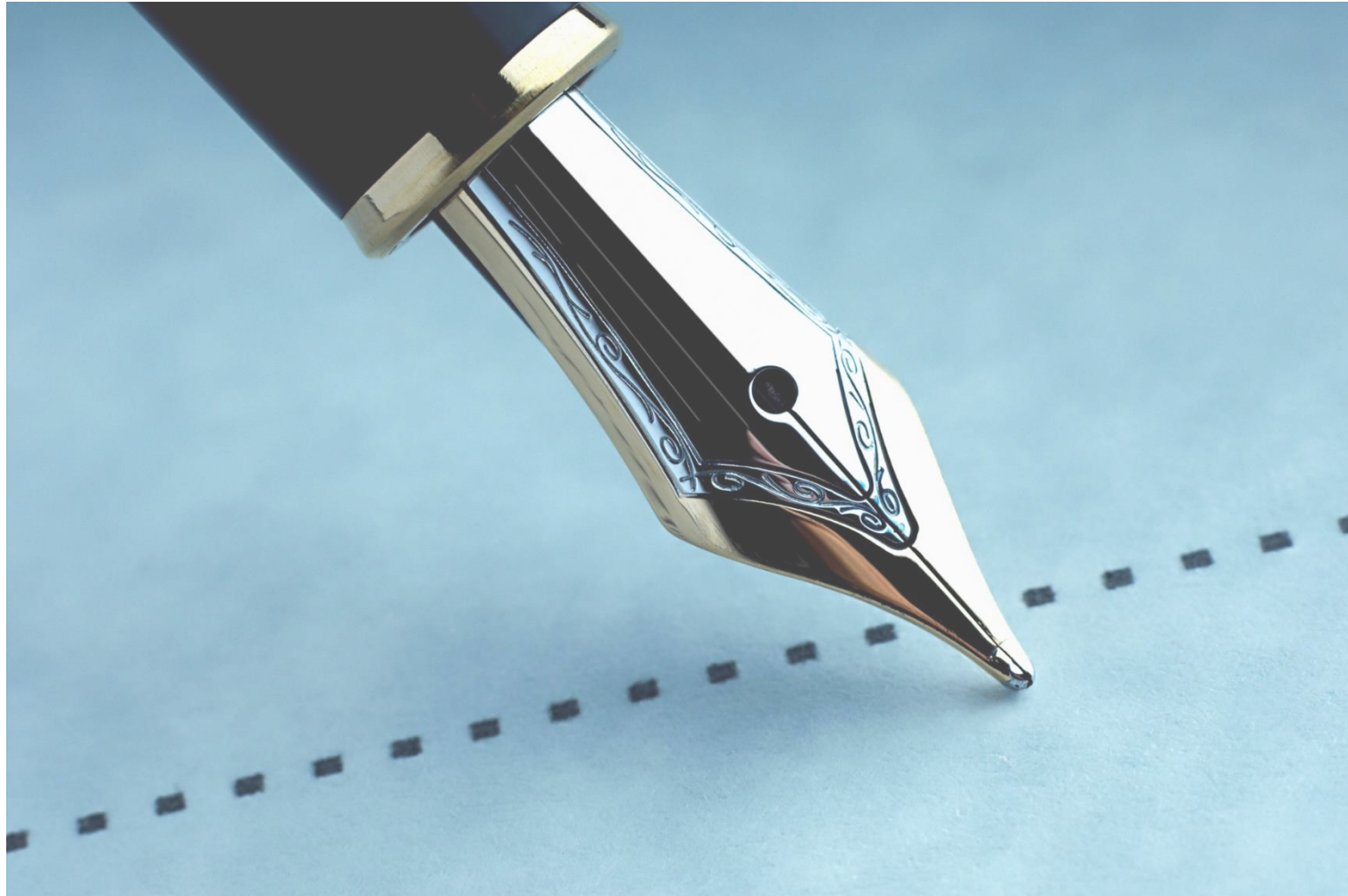
世界の各拠点における活動

世界の各拠点でも、地域に根差した社会貢献活動を積極的に行っています。ヨーロッパの販売拠点の一つであるSharp Nordicにて、地域貢献・社員の環境意識向上を目的とし、オフィス周辺の清掃活動を実施しました。

シャープグループでは「広く世界の文化と福祉の向上に貢献する」という経営理念のもと、各拠点コミュニティの一員として、地域の社会課題解決に取り組んでいます。



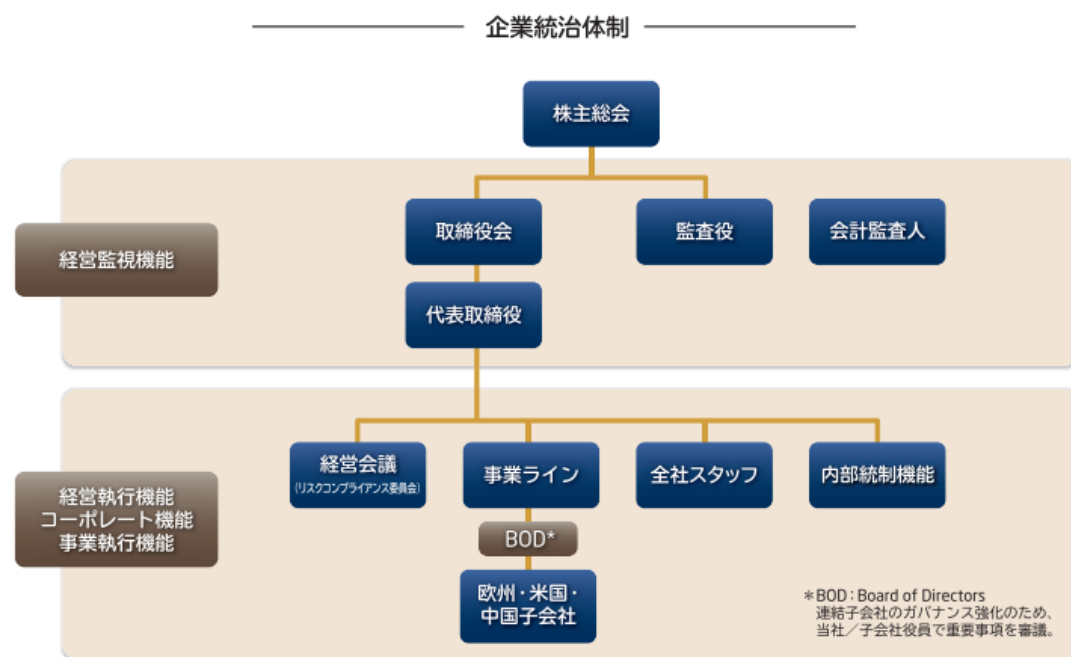
Governance



シャープNECディスプレイソリューションズは、高品質な映像ソリューションをお客様に提供していくことによって社会の発展に寄与し、全てのステークホルダーから信頼される会社であり続けるため、コンプライアンスを徹底し、透明性を確保した迅速かつ的確な経営により、企業価値の最大化を実現します。

コーポレートガバナンス体制

執行役員制度の導入により、経営監視機能を担う取締役会と業務執行機能を分離することで、迅速な意思決定と経営効率の向上を図っています。その上で、社外取締役、監査役、会計監査人により、取締役会の意思決定および執行役員による業務執行を多層的に監視することで、業務の適法性を確保する体制としています。



取締役会

法令や定款で定められた事項や重要な業務執行に関する事項を協議決定し、月次業績および業務執行状況につき報告しています。

毎月1回開催していますが、必要がある場合は、臨時取締役会を随時開催することとしています。

監査役

業務執行部門から独立した監査役は、株主総会によって選任された専門的な高い知見を有する非常勤監査役によって構成されています。会社の業務および財産状況の調査により、取締役の業務執行の適法性や妥当性に関し監査を行います。

会計監査人

当社は会計監査人である有限責任 あずさ監査法人の監査を受けて、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保しています。

経営会議

議長は社長が行い、本部長以上で構成されています。

経営の戦略に関する重要事項を協議決定し、あわせて業務執行の全般的統制を行います。

SHARP / NEC

また当社子会社・関連会社に関する内部統制の取り組みとして、子会社から定期的に業務執行報告を受けると共に、当該会社の事業特性、事業内容に応じた内部統制取組みの推進を図るよう、適切な指導を行っています。

内部統制に関する年間スケジュールと取組み内容

時 期	取組み内容（事務局：経営管理本部 人事総務部）	実施状況
4 月	・前年度下期分の運用状況チェックを実施 ⇒チェック結果をシャープ(株)主管部門へ提出	※2022年度下期および年間取り組み チェック結果は、4月8日提出済み
5月～6月	・「業務の適正を確保する為の体制」の修正の必要性など検討 ・「業務の適正を確保する為の体制に関する運用状況チェック シート」について見直し実施(組織体制の変更等反映)	見直しの必要性なし 昨年度と同様の内容にてチェックシートを運用
7月～9月	・チェックシートに基づき、取組施策の実行	
10月	・上期分の運用状況チェックを実施	※2023年度上期の取り組みについてチェック チェックシート結果報告作成、経営会議会で 報告。
11月～1月	・チェックシートに基づき、取組施策の実行	※シャープ(株)主管部門へ提出。
2月～3月	・取組施策の実行および3月末までの完了に向け必要に応じた フォロー実施	※3月末：2023年度年間チェック結果を 経営会議内で報告およびシャープ(株) 主管部門へ提出

[illegible]

シャープNECディスプレイソリューションズでは、コンプライアンスを「法令及び会社諸規定を順守し、企業倫理に沿った行動をとること」と定義し、コンプライアンスを重視した経営を実践しています。

リスク・コンプライアンス体制

当社ではCSR推進に関する重要方針、CSR推進上の具体的課題解決に関して審議するリスク・コンプライアンス委員会を原則として毎月開催しています。コンプライアンスに関するリスクが顕在化した場合はシャープ株式会社がシャープグループとして定めた「ビジネスリスクマネジメント規程」に基づいて、多様なビジネスリスクに総合的かつ体系的に対応するとともに、ビジネスリスクについては、企業環境等の変化に対応して、定期的に再識別・再評価しています。また、リスクが顕著となった場合は、是正措置を講じて再発防止を徹底します。

コンプライアンスに関する各種教育

コンプライアンスを推進していく上で、役員・社員が遵守すべき事項、禁止事項、取るべき行動の具体的な基準を示す「シャープグループ・コンプライアンス・ガイドブック」を社内公開するとともに、全社員に対してコンプライアンス意識の向上を目的とし、定期的に情報発信およびシャープグループeラーニング研修を実施しています。

2023年度	
受講期間	2023年11月
対象者	社員（派遣社員、産休・育休・その他長欠者は除く）
学習テーマ	第1章 シャープ行動規範 シャープ行動規範とは／行動規範違反の是正 第2章 労働・人権 ビジネスと人権／主な人権テーマ 第3章 コンプライアンス 競争法／贈収賄規制／景品表示法／インサイダー取引 規制／関連当事者取引／会計不正の防止／シャープグ ループ・コンプライアンス・ガイドブック 第4章 情報管理 情報セキュリティ／個人情報保護／秘密情報管理 第5章 お客様の満足向上 品質理念・品質方針／Sharp Corporation Standard ／品質不正の防止／商品・サービスの安全性・品質・ 信頼性の確保／正しく安全に使用いただくための取扱 説明書／ユーザビリティ向上とアクセシビリティ対応

シャープNECディスプレイソリューションズではCSR行動規範のなかで「公正取引・倫理」について以下の通り行動基準を定めております。

公正取引・倫理

■汚職・賄賂などの禁止

政治・行政との健全かつ正常な関係を保ち、贈賄や違法な政治献金などを行わない

■優越的地位の濫用の禁止

優越的地位を濫用することにより、サプライヤに不利益を与える行為を行わない

■不適切な利益供与および受領の禁止

ステークホルダーとの関係において不適切な利益の供与や受領を行わない

■競争制限的行為の禁止

公正・透明・自由な競争を阻害する行為を行わない

■正確な製品・サービス情報の提供

消費者や顧客に対して、製品・サービスに関する正確な情報を提供する

■知的財産の尊重

他者の知的財産権を侵害しない

■適切な輸出管理

法令等で規制される技術や物品の輸出に関して、明確な管理体制を整備して適切な輸出手続きを行う

■情報公開

法令等で公開を義務付けられているか否かを問わず、ステークホルダーに対して積極的に情報提供・開示を行う

■不正行為の予防・早期発見

不正行為を予防するための活動を行い、また早期に発見し対応するための制度を整える

■コンピュータ・ネットワーク脅威に対する防御

コンピュータ・ネットワーク上の脅威に対する防御策を講じて、自社および他者に被害を与えないように管理する

■個人情報の漏洩防止

顧客・第三者・自社従業員の個人情報を適切に管理・保護する

■顧客・第三者の機密情報の漏洩防止

顧客や第三者から受領した機密情報を適切に管理・保護する

贈収賄防止のための取り組み

当社は政治・行政との健全かつ正常な関係を保ち、贈賄や違法な政治献金などを行わないことをCSR行動規範のなかで定め、「シャープグループ企業行動憲章」および「シャープ行動規範」に基づき「接待・贈呈ガイドライン」を策定しています。特に留意すべき代理店・コンサルタントなどの第三者の活用、公務員などの接待・贈答、および団体への加盟については、確認ポイントを明確化し、特定の承認手続きを踏むことで、贈収賄未然防止に努めています。

デリケートな取引に関する特定の承認手続き

「業務決裁要綱」に沿った事前確認・承認体制を整備することで、贈収賄行為の未然防止に取り組んでいます。接待や贈呈を行う場合は事前に「接待・贈呈伺」の提出を定めているほか、諸団体入会にあたっては「業務決裁要綱」に沿った承認基準に従い、起案決裁することを定めています。また、入会に限らず、会費の増減額発生時、臨時会費発生時、退会時等にも、事前確認・承認体制を定めています。

贈収賄リスク監査の実施

シャープ監査等委員会の監査の中で贈収賄リスクマネジメントについての監査（規程・手続等の確認、遵守状況に関するヒアリングの実施、取引実態・証憑の精査など）を実施しております。

贈収賄防止のための啓発研修

2023年度は全社員を対象としたコンプライアンス研修のなかで、贈収賄規制の重要ポイントについて啓発学習を実施しました。

知的財産活動の考え方および管理体制

シャープNECディスプレイソリューションズでは、知的財産を経営上重要な資産のひとつとして位置づけ、積極的にその創出・保護に努めています。

また自社において知的財産活動を主体的に推進する一方で、シャープ株式会社の知財部門が分社化されたSHARP IP Infinity株式会社（SIPI）と緊密に連携する体制をとっています。SIPIと連携することで、シャープグループの一員として、シャープ株式会社の知的財産戦略と一体となった知的財産活動を推進しています。

特許ポートフォリオの構築と活用

将来にわたる事業の自由度を確保するために、競合他社に対抗しうる特許ポートフォリオの構築に取り組んでいます。特許ポートフォリオの構築に際しては、質の良い特許の比率を高めること、事業方針、事業環境に合わせて適切な量の特許を適切な国で保有することを意識しており、新たな特許獲得と共に定期的な棚卸も行っています。これにより、特許ポートフォリオ全体の価値の向上を図っています。

また事業競争力の強化に貢献していくために、知的財産の積極的な活用にも着手しています。

知財リスク管理

第三者の知的財産権を尊重する姿勢の堅持や、各種契約締結の際の知財観点でのリスク検討等を通じて、事業活動に伴い生じうる様々な知財リスクの軽減に努めています。

社内向け知財教育の実施

社内の知財意識を高め、前述の特許ポートフォリオの構築や知財リスク管理等を含めた知財業務の質の向上につなげることを目的とし、社内向けの知財教育を実施しています。2023年度は下記をテーマとした知財教育を実施しました。

- 他社との共創における知財留意点
- 他社事例から学ぶ知的財産権の重要性

安全保障貿易管理

日本をはじめとする主要国では国際的な平和と安全を維持するため、武器そのものを含め、軍事転用可能な貨物、技術などが国際社会の安全性を脅かす国家やテロリスト等の手に渡らないよう、先進国を中心とした国際的な枠組みを作り、国際社会と協調して輸出等の管理を行っています。

日本においては、「外国為替及び外国貿易法（以下、外為法）」に基づき、適正な輸出管理を行うことが求められているなかで、当社では外為法等の遵守及び適切な輸出管理を実施するため「輸出取引管理規程」を定めて、輸出管理体制を構築し、輸出管理の運用を行っています。

シャープNECディスプレイソリューションズの輸出管理体制としては、代表取締役を安全保障輸出管理の最高責任者とし、関係部門に輸出管理責任者を配置して輸出管理の確実な遂行に努めています。

海外への輸出の際は、貨物/技術の該非判定、仕向地や取引相手先/最終需要者の確認、用途、取引条件に安全保障上の懸念がないかなどの社内審査を行い、法令に従った厳格な管理を行っています。また、輸出管理法令が改正された際には、社内運用の見直しを迅速に図り法令遵守に努めるとともに、米国の米国輸出管理規則(EAR)による再輸出規制の管理も行っています。

このような輸出管理の取り組み結果のもと、経済産業省から管理の厳格な輸出者のみに与えられる包括許可を取得しています。これらの体制を維持、発展させ、今後も適正な輸出管理を実施していきます。

貿易管理社内教育

安全保障貿易管理は、社員一人一人の正しい理解がなければ、適正な管理ができません。当社は輸出管理体制を維持・継続していくために、役員・全社員・実務者に対し、eラーニングなどを用いた下記各階層別の輸出管理教育を定期的の実施しています。

[役員向け教育]

- ・ 年度輸出管理活動結果報告

[全社員向け一般教育]

- ・ 輸出管理の基本事項/輸出管理基礎教育

[実務者向け専門教育]

- ・ 輸出管理関係者基礎教育
- ・ 該非判定実務教育
- ・ 輸出手続き実務教育

シャープNECディスプレイソリューションズは、より良い商品やサービスを提供し社会の発展に寄与するため、お客様やお取引先様からお預かりした情報資産および当社の情報資産を守ることが責務と考え、「情報セキュリティグローバル基本方針」を定め、情報セキュリティの確保、秘密情報の管理に取り組んでいます。

この「情報セキュリティグローバル基本方針」は社外HPに掲載し、広く一般的に公開しています。

情報セキュリティ基本方針

制定 2004年 11月 1日

改定 2022年 9月 29日

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社
代表取締役社長執行役員 山本 利明

当社は、より良い商品やサービスを提供し社会の発展に寄与するため、お客様やお取引先様からお預かりした情報資産および当社の情報資産を守ることが責務と考え、ここに情報セキュリティ基本方針を定め、実践することを宣言します。

- 当社は、情報セキュリティ管理体制を確立し、情報資産の適切な管理に努めます。
- 当社は、本基本方針に従い社内規程を整備・実施します。
- 当社は、情報セキュリティの確保に必要な教育を継続的に行います。
- 当社は、適切な人的・組織的・技術的施策を講じ、情報資産に対する不正な侵入、漏えい、改ざん、紛失・盗難、破壊、利用妨害などが発生しないよう努めます。
- 当社は、万一情報資産にセキュリティ上の問題が発生しても、その原因を迅速に究明し、その被害を最小限に止めるとともに再発防止に努めます。
- 当社は、情報セキュリティに係る法令、国が定める指針、その他の社会的規範を遵守します。
- 当社は、以上の活動を継続的に見直し、改善に努めます。

情報セキュリティの運用体制

当社の情報セキュリティに関連し、以下責任者、担当者を定めています。

- 情報セキュリティ統括責任者：社長が就任
- 情報セキュリティ管理責任者：IT部門長が就任
- 情報セキュリティ管理者：IT部門のメンバーで構成

監査の実施

当社の情報セキュリティ対策が正しく運用されていることを確認するため、以下の監査が定期的に実施されています。

- 社内監査（年 1 回）
- 外部監査（年 1 回）

各PCの情報セキュリティセルフチェック

年に 1 回、各PCのセキュリティ対策状態の棚卸が行われ、情報セキュリティ統括責任者に報告を実施しています。

各種棚卸の実施

外部記憶媒体や秘密情報の保持状況、管理方法について各部門に対し定期的に棚卸を実施し、適切に管理されていることを確認しています。

情報セキュリティ教育

- ・新入社員、中途採用者、派遣社員などが就業を開始する前に「情報セキュリティ教育」を実施し、情報セキュリティに関する注意点やルールを周知しています。
- ・全社員を対象とした「情報セキュリティ教育」を年に1回実施し、情報セキュリティの最新情報や注意点などを学習しています。

標的型攻撃メール訓練

- ・近年被害が急増しているメールを利用した攻撃に対し、その手法や見分け方について理解を深めたり、社内エスカレーション手順の確認を行うための訓練を定期的に実施しています。

PCのセキュリティ対策

- ・毎日、各PCのOSやウィルスソフト定義などが最新化されているかのチェックが自動で実施しています。
- ・最新化されていないPCがあった場合、IT部門担当で検知できるようになっており、対象PCの対策を即日対応しています。
- ・万が一セキュリティ対策が一定期間実施されていないPCがあった場合、社内インターネットやVPNの接続ができないようにネットワークから遮断されます。

社内への情報発信

- ・情報セキュリティ関連のホームページ（情報セキュリティポータル）を公開し、社員に対して情報セキュリティ意識を向上させるための情報提供を行っています。

事業継続マネジメントの推進

シャープNECディスプレイソリューションズでは、大規模災害発生等により被災した場合でも、指揮命令系統を維持しつつ、速やかに事業復旧が出来るよう、事業継続計画（Business Continuity Plan）を策定しています。

2023年度は事業継続計画書ガイドラインの改定を行い、最新の被害想定ならびにシャープグループ内のエスカレーション見直しを行いました。また、有事の際の各部門の復旧優先業務、アクションチェックリストの見直しを実施することで、各機能を明確化し、実効性向上を図りました。

基本方針

- （１）従業員等の生命・安全の確保
- （２）会社として求められる社会的責務の遂行
- （３）事業の維持、早期復旧
- （４）事業中断から生じる経営ダメージのミニマム化
- （５）ネットワーク障害から生ずる被害のミニマム化と早期復旧

安否システムの導入

シャープグループでは、従業員の生命・安全の確保を第一と考え、グループ全体で「安否確認システム」を導入しています。

安否確認メールは震度5強以上の地震が発生した場合に対象被災地の社員に自動で送信され、メールを受信した社員が安否を報告することで、システム上で従業員の安全確認を行うことができます。有事の際に備え、毎年システムの登録情報確認と動作訓練を実施しています。

防災・事業継続の対策

消防法等の法令に基づき、当社における防火・防災管理に必要な事項について定め、「職場防災体制」を構築するとともに、災害発生に備えた原則全員参加型「総合防災訓練」を毎年実施しています。

2023年度は11月に「震度5強の地震に基づき発生した火災」を想定した「避難訓練」を実施、その翌日にはBCP対策本部メンバーを招集して「BCP訓練」を実施しました。訓練結果は検証・評価するとともに、消防計画や事業継続計画書への反映、見直し等に役立てています。



避難訓練の様子

防災備蓄品の備え

職場内には防災備蓄基準をもとに防災備蓄品確保を推進しています。2023年度は備蓄品の入れ替えに伴う見直しにより、個人別に配布しやすい1DAYキットを導入するなど、事業継続体制の維持に取り組んでいます。

コンプライアンス経営の実践、職場環境の改善および組織運営の健全化に資することを目的として、コンプライアンスに関する通報窓口「SNDSホットライン」を設置しています。

相談窓口では運用ルールに従って、相談者・行為者等のプライバシーを守り対応を行うこと、相談したことや事実確認に協力したことを理由に、相談者も協力者も不利益な処遇や不当な取扱いを受けないことを明確に規定しています。

またシャープグループとしての通報窓口「クリスタルホットライン」も活用しています。クリスタルホットラインは匿名での利用が可能で、法令違反、倫理違反、職場の人間関係等に係る諸問題等の通報窓口となっています。

各相談窓口では運用ルールに従って、いずれにおいても、通報の受付・事実調査を行い、その対応内容を通報者へ回答します。調査の結果、法令違反・社内規定違反、その他コンプライアンス違反が明らかになった等の場合は、改善策・再発防止策を講じています。

なお、クリスタルホットラインでは、通報対応完了から半年後に、通報者に対し通報したことを理由とした不利益の有無を確認する他、通報対応完了から一定期間経過後に、通報事案に関する是正措置・再発防止措置が適切に機能していることを確認しています。

2023年度 内部通報「SNDSホットライン」の通報件数	実績
	0件

ホットライン情報の公開



ホットライン

① SNDSホットライン (当社独自)
② クリスタルホットライン (シャープグループ)

相談

経営管理本部 人事総務部
2022/12/27



① SNDSホットライン

○コンプライアンス・CSR問題

- ◇法令に違反する行為
- ◇シャープグループ企業行動憲章および行動規範を逸脱した行動
- ◇財務諸表に影響を及ぼす処理
- ◇取引先や社外関係者との不適切な関係
- ◇社内における不適切な処理

等、「不正では？」と感じた場合は、速やかに次頁連絡先までご連絡下さい。

○人権問題

- ◇ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)
- ◇人権侵害
- ◇職場での人間関係

等でお悩みの場合は、遠慮なく次頁連絡先までご連絡下さい。

SHARP / NEC

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社